大学等名	山梨学院大学
プログラム名	ICTスキルとデータサイエンス修得プログラム

		プログ	ブラム	を構り	或する	授業科	4目について				
1	対象となる学部・学科名称	② 教育	育プロ	グラム	の修了	要件	学部・学科によって	て、修了要件(	は相違	する	
	法学部、経営学部、スポーツ科学部										
(3)	 □ 修了要件										
Ŭ	「ICTリテラシーA」2単位、「ICTリテラ	シーB.	」2単位	ī、「デ-	ータサィ	イエンス	」2単位の必修3科目、合	計6単位を	取得す	ること	•
	必要最低単位数 6 単位			履修	必須の	有無	令和7年度までに	こ履修必須と	する計	·画	
<u>4</u>	現在進行中の社会変化(第4次産業 生活と密接に結びついている」の内3	美革命、 容を含さ	Socie む授業	ty 5.0. 科目	、データ	駆動型	社会等)に深く寄与して	いるもので	あり、そ	それが	自ら
	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6		授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
	データサイエンス	2	0	0	0						
	- - - 「社会で活用されているデータ」や「- ツールになり得るもの」の内容を含む			領域]	は非常	に広範	囲であって、日常生活や	社会の課題	夏を解え	決する	有用
	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3		授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
	データサイエンス	2	0	0	0						
⑥ ラ	  「様々なデータ利活用の現場におけ   公共、ヘルスケア等)の知見と組み	L るデー 合わせ	  -タ利記  ること	L 5用事( で価値	┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━	され、様 けるも		 製造、金融、 4目	サービ	こ、イ	ンフ
-	授業科目	単位数		1-4	1-5		授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
	データサイエンスロ	2	0	0	0						
		-									
⑦ <b>笙</b>	    「活用に当たっての様々な留意事項  、データを守る上での留意事項への:	  (ELSI  理解を	、個人	情報、	データfi を含む	ーーー 倫理、A 授業科	.I社会原則等)を考慮し、 日	情報セキュ	リティ	や情報	湿漏洩
77	授業科目	単位数		3-1	3-2	17. A. 17	<del>□</del> 授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
	データサイエンス	2	O	0	0		A 17 H	<b>一一一双</b>	~		J 2
	ICTリテラシーA	2	0		0						
		<u> </u>									

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
ICTリテラシーB	2	0	0	0	0						

#### ⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

#### ⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容	字·要素	講義内容
(1)現在進行中の社会 変化(第4次産業革 あ、Society 50、データ 駆動型社会等)に深く	1-1	・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会 「データサイエンス」(第1回、第10回~第15回)
寄与しているものであ り、それが自らの生活 と密接に結びついてい る	1-6	・AI最新技術の活用例 「データサイエンス」(第1回、第10回~第15回)
(2)「社会で活用されて いるデータ」や「データ の活用領域」は非常に	1-2	・オープンデータ、調査データ、実験データ「データサイエンス」(第2回、第3回、第10回~第15回)
広範囲であって、日常 生活や社会の課題を 解決する有用なツール になり得るもの	1-3	・データ・AI活用領域の広がり「データサイエンス」(第2回、第3回、第10回~第15回)
(3)様々なデータ利活 用の現場におけるデー タ利活用事例が示さ れ、様々な適用領域 (流通、製造、金融、	1-4	・データ解析 「データサイエンス」(第8回、第9回) ・特化型AIと汎用AI 「データサイエンス」(第10回)
(が、典で、金融、 サービス、インフラ、公 共、ヘルスケア等)の 知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-5	・サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介 「データサイエンス」(第10回~第15回)

(4)活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリテンや情報温度等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・ELS、個人情報保護、忘れられる権利、データ倫理、データバイアス 「データサイエンス」(第2回)・データ・AI活用における負の事例紹介「データサイエンス」(第10回~第15回)
	3-2	<ul> <li>・匿名加工情報「データサイエンス」(第2回)</li> <li>・情報セキュリティ:機密性、完全性、可用性「データサイエンス」(第3回)</li> <li>・パスワード、悪意ある情報搾取「ICTリテラシーA」(第1回、第5回)</li> <li>・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「ICTリテラシーA」(第5回)</li> </ul>
(5)実データ・実課題 (学術データ等を含む) を用いた演習など、社 会での実例を題材として、「データを読む、説 教理・データサイエン ス・AIの基本的な活用 法に関するもの	2-1	・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)、代表値の性質の違い、 データのばらつき、相関と因果(相関係数)「ICTリテラシーB」(第14回)
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図)「ICTリテラシーB」(第14回)
	2-3	・データの集計(和、平均)、データの並び替え「ICTリテラシーB」(第15回)

#### ① プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ICTスキルと数理・データサイエンス・AIの基礎知識が同時に身につきます。グループ学習を通じて、協力して発表資料を作成することで数理・データサイエンス・AIを学ぶことの楽しさを体験し、将来に渡って学ぶ力が身につきます。

大学等名	山梨学院大学
プログラム名	ICTスキルとデータサイエンス修得プログラム

		プログ	ブラム	を構り	成する拮	受業科	目について				
1	)対象となる学部・学科名称	② 教育	育プロ	グラム	の修了要	要件	学部・学科によっ	て、修了要件に	は相違	する	
	健康栄養学部										
<u>(3</u>	 )修了要件										
٠	「情報処理演習Ⅰ」1単位、「情報	処理演習	<b>Ⅱ</b> 」1 Ĕ	単位、「	データサ	・イエンス	、」2単位の必修3科目	、合計4単位	を取得	<b>身する</b> こ	ع=
	必要最低単位数 4 単	位		履修	必須の有	無	令和7年度まで	に履修必須と	する計	·画	
	)現在進行中の社会変化(第4次函 生活と密接に結びついている」の				、データ	駆動型社	:会等)に深く寄与して	こいるものでは	あり、そ	それが	自ら
	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6		授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
	データサイエンス	2	0	0	0						
	- )「社会で活用されているデータ」や ツールになり得るもの」の内容を含			]領域」	は非常に	こ広範囲	であって、日常生活・	や社会の課題	夏を解:	決する	有用
	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3		授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
	データサイエンス	2	0	0	0						
⑥ ラ	)「様々なデータ利活用の現場によ、公共、ヘルスケア等)の知見と組	sけるデー lみ合わせ	·タ利汗 ·ること	5用事作 で価値	例が示さ 直を創出す	れ、様々 するもの	な適用領域(流通、 」の内容を含む授業	製造、金融、	サービ	ス、イ	ンフ
	授業科目	単位数		1-4	1-5		授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
	データサイエンスロ	2	0	0	0						
										-	
	└────────────────────────────────────						土会原則等)を考慮し	、情報セキュ	リティ	や情報	湿漏洩
╗	授業科目	単位数		の内谷	72日でお 3-2	<b>大作日</b>	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
	データサイエンス	2	<b>必</b> 須	0	0		3ス木1イロ	<b>平</b> 世数	必次	3-1	3-2
	情報処理演習 I	1	0	$\vdash$	0						
		-									

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
情報処理演習Ⅱ	1	0	0	0	0						

#### ⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

#### 10

プログラムを構成授業に含まれている内容		講義内容
(1)現在進行中の社会 変化(第4次産業革 命、Society 5.0、データ 駆動型社会等)に深く	1-1	・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット、第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会 「データサイエンス」(第1回、第10回~第15回)
寄与しているものであ り、それが自らの生活 と密接に結びついてい る	1-6	・AI最新技術の活用例 「データサイエンス」(第1回、第10回~第15回)
(2)「社会で活用されて いるデータ」や「データ の活用領域」は非常に 広範囲であって、日常	1-2	・オープンデータ、調査データ、実験データ 「データサイエンス」(第2回、第3回、第10回~第15回)
協利のであった。日本 生活や社会の課題を 解決する有用なツール になり得るもの	1-3	・データ・AI活用領域の広がり「データサイエンス」(第2回、第3回、第10回~第15回)
(3)様々なデータ利活 用の現場におけるデー タ利活用事適用領域 (流通、製造、金融、	1-4	・データ解析:クロス集計、回帰分析、ベイズ推論、アソシエーション分析、クラスタリング、決定木「データサイエンス」(第8回、第9回) ・特化型AIと汎用AI「データサイエンス」(第10回)
(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公井、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-5	・サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介 「データサイエンス」(第10回~第15回)

(4)活用に当たっての 様々な留意事項 (ELSI、個人情報、デー 夕倫理、AI社会原則 等)を考慮し、情報局 キュリティや情報局で の留意事項への理解 をする	3-1	・ELS、個人情報保護、忘れられる権利、データ倫理、データバイアス 「データサイエンス」(第2回)・データ・AI活用における負の事例紹介「データサイエンス」(第10回~第15回)
	3-2	・匿名加工情報 「データサイエンス」(第2回) ・情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性 「データサイエンス」(第3回) ・暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取 「情報処理演習 I」(第7回、第8回)
(5)実データ・実課題 (学術データ等を含む) を用いた演習など、社 会での実例を題材として、「データを読む、説 明する、扱う」といった 数理・データサイエン ス・AIの基本的な活用 法に関するもの	2-1	・母集団と標本抽出(アンケート調査、全数調査)「情報処理演習 II」(第9回) ・データの種類(量的変数、質的変数)「情報処理演習 II」(第12回) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)、代表値の性質の違い、 データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、相関と因果(相関係数) 「情報処理演習 II」(第13回)
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図)「情報処理演習 II」(第11回)
	2-3	・データの集計(和、平均)、データの並び替え「情報処理演習 II 」(第13回)

#### ① プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

ICTスキルと数理・データサイエンス・AIの基礎知識が同時に身につきます。グループ学習を通じて、協力して発表資料を作成することで数理・データサイエンス・AIを学ぶことの楽しさを体験し、将来に渡って学ぶ力が身につきます。

大学等名	山梨学院大学
プログラム名	ICTスキルとデータサイエンス修得プログラム

		プログ	ブラム	を構り	或する	5授業科	目について				
1	対象となる学部・学科名称	② 教育	育プロ	グラム	の修う	了要件	学部・学科によっ	って、修了要件	は相違	する	
	国際リベラルアーツ学部										
<b>3</b>	└───── 〕修了要件										
•	「Introduction to Data Science」1単	立を取る	得する	عے							
	「Introduction to Computer Science」 位、「Machine Learning」3単位の10章					<del>np:Applied</del>	<del>d Probability and Sta</del>	<del>tistics ]1単位.</del>	, 「Stai	<del>istics</del> .	<del>]3単</del>
	必要最低単位数 1 10 単位			履修	必須0	0有無	令和8年度以降に履	修必須とする語	計画、ス	 スは未ご	定
	   現在進行中の社会変化(第4次産業  生活と密接に結びついている」の内線			ty 5.0		ļ	社会等)に深く寄与し	ているもので	あり、そ	これが	自ら
	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6		授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
	Introduction to Data Science	1	0	0	0						
	Introduction to Computer Science	3	Φ	Φ	Φ						
	Machine Learning	3	0	0	0						
	     「社会で活用されているデータ」や「    ツールになり得るもの」の内容を含む			  領域」	は非常	 常に広範	囲であって、日常生活	 い社会の課題	夏を解え	L 決する	有用
	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3		授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
	Introduction to Data Science	1	0	0	0						
	Introduction to Computer Science	3	Ф	0	Ф						
	Machine Learning	3	Ф	0	Ф						
										<u> </u>	
	) 「様々なデータ利活用の現場におけ、公共、ヘルスケア等) の知見と組み								サービ	ス、イ	ンフ
	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5		授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
	Introduction to Data Science	1	0	0	0						
	Introduction to Computer Science	3	Ф	0	0						
	Machine Learning	3	Ф	0	0						
								し、情報セキュ	リティ	や情報	 弱漏洩
শ	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	12414	<del></del> 授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
	Introduction to Data Science	1	<u>2</u> -/ <u>A</u>	0	0		A4111	74%	~~		<u> </u>
	Introduction to Computer Science	3	Φ	0	0						
	Machine Learning	3	0	0	0						

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
Introduction to Data Science	1	0	0	0	0						
Coding Bootcamp: Applied Probability and Statistics	4	Ф	Ф	Ф	Ф						
Statistics	3	Φ	Ф	Ð	Ð						

#### ⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

プログラムを構成する授業の内容								
授業に含まれている内容	容·要素	講義内容						
(1)現在進行中の社会 変化(第4次産業革 命、Society 50、データ 駆動型社会等)に深く	1-1	・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット 「Introduction to Data Science」(第1回)(第13回) — Changes in society, Internet of Things 「Introduction to Computer Science」(第29回)(第30回) ・複数技術を組み合わせたAIサービス — Changes in society「Machine Learning」(第1回)						
寄与しているものであ り、それが自らの生活 と密接に結びついてい る	1-6	・AI最新技術の活用例 「Introduction to Data Science」(第1回) <u>Latest trends in data and AI utilization「Introduction to Computer Science」(第29回)(第30回)</u> <u>Latest trends in data and AI utilization「Machine Learning」(第1回)</u>						
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に	1-2	・調査データ、実験データ、データのオープン化 「Introduction to Data Science」(第2回) ・構造化データ 「Introduction to Data Science」(第5回) — Introduction to Databases 「Introduction to Computer Science」(第29回) — Data used in society/ AI utilization「Machine Learning」(第1回)						
広範囲であって、日常 生活や社会の課題を 解決する有用なツール になり得るもの	1-3	・データ・AI活用領域の広がり「Introduction to Data Science」(第1回) <del>- Areas of utilization of data and AI「Introduction to Computer Science」(第29回)(第30回)</del> <del>- Areas of utilization of data and AI「Machine Learning」(第1回)</del>						
(3)様々なデータ利活 用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域 (流通、製造、金融、 サービス、インフラ、公	1-4	*データ解析 「Machine Learning」(第12回)~(第28回) 「Coding Bootcamp: Applied Probability and Statistics」(第5回)(第6回) 「Statistics」(第12回) ・特化型AIと汎用AI 「Introduction to Data Science」(第12回) — Technologies for data and AI utilization「Introduction to Computer Science」(第29回)(第30回)						
共、ヘルスケア等)の 知見と組み合わせることで価値を創出するも の	1-5	・探索的データ解析 「Introduction to Data Science」(第8回)(第10回)(第11回) ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介 Sites of data and AI utilization「Introduction to Computer Science」(第29回)(第30回) - Sites of data and AI utilization「Machine Learning」(第1回)						

(4)活用に当たっての 様々な留意事項 (ELSI、個人情報、デー 夕倫理、A社会原則 等)を考慮し、情報セ キュリティや情報漏洩 等、データを守る上で の留意事項への理解 をする	3-1	・個人情報保護、データ倫理 「Introduction to Data Science」(第7回) ・データ倫理、データバイアス - Points to Note in Utilizing Data and AI 「Machine Learning」(第1回)(第2回)
	3-2	・情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性 「Introduction to Data Science」(第7回) — Precautions for protecting data 「Introduction to Computer Science」(第25回)~(第28回)
(5)実データ・実課題 (学術データ等を含む) を用いた演習など、社	2-1	・データの種類、データのばらつき 「Introduction to Data Science」(第3回)(第4回) ・母集団と標本抽出 「Introduction to Data Science」(第4回) ・相関と因果 「Introduction to Data Science」(第6回) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)、代表値の性質の違い、 データのばらつき、相関と因果(相関係数) Read the data「Coding Bootcamp: Applied Probability and Statistice」(第7回)(第8回) Read the data「Statistics」(第2回)~(第4回)
るでの実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データを訪れている活用法に関するもの	2-2	・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図) 「Introduction to Data Science」(第9回) — Explain the data「Coding Bootscamp: Applied Probability and Statistics」(第9回)~(第20回) — Explain the data「Statistics」(第20回)~(第30回)
	2-3	・データの集計(和、平均)、データの並び替え、ランキング、表形式のデータ(csv) 「Introduction to Data Science」(第14回) 「Machine Learning」(第12回)~(第28回)

#### ① プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

数理・データサイエンス・AIの基礎的な知識が身につきます。多種性豊かな学生がともに学ぶことで、数理・データサイエンス・AIについても多種多様な考え方を見につけることができます。

## 02\_(山梨学院大学)\_変更後のシラバス等

- ・データサイエンス
- ・ICTリテラシーA
- ・ICTリテラシーB
- ·情報処理演習 I
- ·情報処理演習 II
- · Introduction to Data Science

学期	2024年度前期	ナンバリングコード	ICT1	03						
科目名称	データサイエンス	開講言語	日本語							
担当教員	内藤 統也									
開講学科	管理栄養学科									
科目群	ICTスキル	ICTスキル 履修相当年次 1年								
曜日時限	木曜1限	単位数	2単1	<u>'</u>						
到達目標	この授業では以下の3つを到達目標とします。(DP1-②考え抜く力と関連) ・データ・AIによって、社会および日常生活が大きく変化していることを説明できる。 ・今のAIで出来ることと、出来ないことの判別ができる。 ・社会におけるデータやAIの利活用事例を調査して、発表できる。									
関連DP	DP1-②(考え抜く力)									
授業概要	DP1-②(考え抜く力)  データサイエンスとは、意思決定をサポートするために大量のデータから法則・関連性を導き出すための手法を指すことが一般的ですが、企業活動をはじめ、現代のビジネスにおいて、このデータサイエンスの活用が必要不可欠なものになっています。  一方、日本はAI人材の育成で世界から遅れを取っているといわれています。AI人材とは、データサイエンスの基礎的素養に身に付け、学修した知識・技能をもとに、AIを扱う際には人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAIの恩恵を享受できる人材のことです。 この授業では、データサイエンスの基礎的素養に身に付け、AI人材を育成することを目的とします。  授業では、以下の内容を扱います。 ・社会で起きている変化・社会で活用されているデータ・データ・AIの活用領域・データ・AI利活用のための技術・データ・AI利活用の現場・データ・AI利活用の最新動向  前半の授業は主に講義形式で行い、後半はグループ学習形式で行います。									
利用するアクティブ・ラーニ ング手法	グループワーク/プレゼンテーション									

授業計画	
回数	内容
第1回	*履修指定科目のため第1回から対面で授業を行います。授業開始時刻までに指定された教室に集合してください。現代社会におけるデータサイエンス・データサイエンスの役割 キーワード:ビッグデータ、IoT、AI、第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会授業内容に関する小テスト(授業後)
第2回	現代社会におけるデータサイエンス ・データサイエンスと情報倫理 キーワード:倫理的・法的・社会的課題、個人情報保護(ELSI)、データ倫理、匿名加工情報 授業内容に関する小テスト(授業後)
第3回	現代社会におけるデータサイエンス ・データ分析のためのデータの取得と管理 キーワード:調査データ、実験データ、データ作成、データのオープン化、データバイアス 授業内容に関する小テスト (授業後) 1章の内容に関する課題レポート (授業後)

第4回	<ul><li>データ分析の基礎</li><li>・ヒストグラム・箱ひげ図・平均値と分散</li><li>キーワード:データ可視化</li><li>授業内容に関する小テスト(授業後)</li></ul>
第5回	データ分析の基礎 ・散布図と相関係数 キーワード:データ可視化 授業内容に関する小テスト(授業後)
第6回	データ分析の基礎 ・回帰直線 キーワード: データ解析 授業内容に関する小テスト (授業後)
第7回	データ分析の基礎 ・データ分析で注意する点 キーワード: データ解析 授業内容に関する小テスト (授業後) 2章の内容に関する課題レポート (授業後)
第8回	<ul> <li>データサイエンスの手法</li> <li>・クロス集計 ・回帰分析 ・ペイズ推論</li> <li>キーワード:データ解析、データサイエンスのサイクル</li> <li>授業内容に関する小テスト(授業後)</li> </ul>
第9回	<ul> <li>データサイエンスの手法</li> <li>・アソシエーション分析 ・クラスタリング ・決定木</li> <li>キーワード:データ・AI活用領域の広がり、データサイエンスのサイクル 授業内容に関する小テスト(授業後)</li> </ul>
第10回	データサイエンスの手法  ・ニューラルネットワーク ・機械学習とAI ・生成AI  キーワード:特化型AIと汎用AI、AI最新技術の活用例  授業内容に関する小テスト(授業後) 3章の内容に関する課題レポート(授業後)
第11回	グループ学習  ・グループづくり ・グループでのテーマ設定  キーワード:データ・AI利活用事例紹介、AI最新技術の活用例

	グループワークにโ	関するワーク	クシート提出(授業内)								
	グループ学習	グループ学習									
	・テーマに従った活用事例の調査とまとめ										
第12回	キーワード:データ・AI利活用事例紹介、AI最新技術の活用例										
	グループワークに関するワークシート提出(授業内)										
		∾ງ <b>⊘</b> /−?	/ / 『派四(汉未刊)								
	グループ学習										
第10日	・調査内容に関する	るプレゼン:	テーション資料の作成								
第13回	キーワード:デー	タ・AI利活用	用事例紹介、AI最新技術の活用例	ij							
	グループワークに[ プレゼンテーション		クシート提出(授業内) 出(授業後)								
	グループ学習										
	・プレゼンテーショ	ョン動画の作	作成と提出								
第14回	キーワード:デー:	タ・AI利活月	用事例紹介、AI最新技術の活用例	ij							
	グループワークに プレゼンテーション		クシート提出(授業内) 出(授業後)								
	成果発表とまとめ										
第15回	<ul><li>・他のグループのプレゼンテーションの閲覧とコメント</li><li>・まとめ</li></ul>										
	キーワード:データ・AI利活用事例紹介、AI最新技術の活用例										
	授業内容に関する	小テストまた	たはワークシート提出(授業後)								
授業運営におけるICT活用	ワークシートの記 <i>入</i> プレゼンテーション		Ì								
事前・事後学習の内容	します。予習と復習 間) 第11回から第15 業への準備や振り返 時間) 課題レポートを3回 です。(合計15時	のために3 i 回まで、ク えりのために ]実施します 間)	作内容に関する小テストを出題時間が必要です。(合計30時がループワークを行います。授こ2時間が必要です。(合計10年のために5時間が必要のために5時間が必要のために5時間が必要で	予習時間	2時間	復習時間	2時間				
フィードバックの方法	・講評はLMSで行い ・詳細の説明を希望	-	こは授業Q&Aやメールにて対応し	ます。	·						
評価方法	l	評価割合			評価基準など						
授業内小テスト				30%	単位認定には60%以	以上の正答率が必	要です				
レポート課題				30%							
授業内課題				15%		_					
プレゼンテーション	I		I	25%	単位認定には発表資	資料の提出が必要 	です				
書名	著者   出版社   ISBN     備考										
はじめてのデータサイエンス	滋賀大学データサイ部・山梨学院大学 IIシー教育チーム 共経	CT リテラ	学術図書出版社	978-4-78	806-1102-1	価格:1900円 須)	+税(購入必				
参考資料・URL											
実務経験のある教員による授 業科目(実務経験の概要)											

前年度の授業を踏まえた今年 度の授業	・データサイエンスやAIについてわかりやすい授業を行います。
	全体を4つの単元に分けて授業を展開します。第4単元では、アクティブラーニングを取り入れたグループディスカッションやプレゼンテーションを行います。メンバーと協力しながら進めてください。
特記事項	【評価方法について】 ・授業内小テストは、第1回から第10回までの授業内容にもとづいて出題します。 ・レポート課題は、テキストの各章ごとに1回ずつ計3回出題します。 ・授業内課題は、第4単元のグループワークで作成するワークシートを提出してもらいます。 ・プレゼンテーションは発表資料を提出してもらいます。
	なお、以下に該当する場合には、合格水準に達していても単位認定しないことがあります。 ・授業を6回以上欠席した場合 ・第3回の授業時点で指定されたテキストを用意しなかった場合 ・未提出のレポート課題がある場合 ・プレゼンテーションの発表資料を提出しなかった場合 ・小テストやレポート等の提出において不正行為を行なった場合や、不正行為に関わった場合 ・授業に関して教員の指示等に繰り返し従わなかった場合

学期	2024年度前期	ナンバリングコード	ICT	101				
科目名称	ICTリテラシーA	1	開講言語	日本語				
担当教員		伊藤 栄一郎						
開講学科		経営学科						
科目群	ICTスキル	ICTスキル 履修相当年次 1年						
曜日時限	水曜2限 単位数 2単位							
到達目標	・一般的な資格試験に合格できるレベルで文書	・初年次の授業等に必要とされるレベルでPCを操作できる。 ・一般的な資格試験に合格できるレベルで文書作成アプリを操作できる。 ・基本的な事務作業に必要とされるレベルでキーボードのタイピングができる。						
関連DP	DP1-②(考え抜く力)							
授業概要	*かならず【特記事項】の内容を確認した上で授業を受けてください この授業では、大学で必要とされる基本的なPC操作に関するスキルを習得するとともに、ICTに関する基礎的知識について学びます。 複数の教員により開講されますが、授業内容や評価方法はクラス間で統一されています。 履修指定科目のため、必ずUNIPAで登録されているクラスを受講してください。							
利用するアクティブ・ラーニ ング手法	実習・フィールドワーク							

授業計画	
回数	内容
第1回	*入学時に配布された「学生用コンピューターメールシステム等利用マニュアル」を持参してください  〈オリエンテーション〉 ・ICTスキル科目群について ・この授業の概要と評価について  〈すぐに必要なICTスキル〉 ・実習室PCの利用方法と注意事項 ・学内無線LANの利用方法について ・UNIPAの使い方(出席、授業Q&A、掲示、テスト、課題提出について)  *授業後に授業内容に関する小テストを行います
第2回	*入学時に配布された「学生用コンピューターメールシステム等利用マニュアル」を持参してください  < クラウドアプリの活用 >
第3回	<キーボードタイピング> ・タッチタイピングについて ・タイピング練習 ・キーボードタイピングの小テスト(1回目)  <オフィスアプリの活用> ・オフィスアプリのダウンロードとインストール方法 ・Word, Excel, PowerPointの用途と活用法  * 授業後に授業内容に関する小テストを行います
第4回	< PCでのファイル操作> ・ファイルとフォルダの役割 ・実習室PCのフォルダ構成 ・ファイルのコピー、移動、削除、名称変更、圧縮、展開などの方法 * 授業後に授業内容に関する小テストを行います

第5回	<電子メールでのコミュニケーション> ・電子メールの用途と活用 ・大学での電子メール利用について ・ビジネスメールの送り方  < ネットリテラシー (データを守る上での留意事項を含む) > ・電子メール利用時のマナーと注意点 ・ウェブサイト利用時の注意点 ・実習室利用時の注意点 * 授業後に授業内容に関する小テストを行います
第6回	<ul> <li><it関係の資格について></it関係の資格について></li> <li>・MOS試験について</li> <li>・ITパスポート試験、情報セキュリティマネジメント試験について</li> <li>&lt;基本的なPCスキルまとめ&gt;</li> <li>・今まで学んだPC操作に関する演習を行います</li> <li>*授業後に授業内容に関する小テストを行います</li> </ul>
第7回	*この授業回以降、必ず教科書を持参してください。教科書を忘れると成績に影響することがあります。 < 文書の管理 > ・文書内を移動する ・文書の書式を設定する < キーボードタイピングの小テスト(2回目) > * 授業後に授業内容に関する小テストを行います
第8回	< 文書の管理 > ・ 文書を保存する、共有する ・ 文書を検査する * 授業後に授業内容に関する小テストを行います
第9回	< 文字、段落、セクションの挿入と書式設定 > ・文字列や段落を挿入する ・文字列や段落の書式を設定する ・文書にセクションを作成する、設定する * 授業後に授業内容に関する小テストを行います
第10回	<表やリストの管理> ・表を作成する ・表を変更する ・リストを作成する、変更する *授業後に授業内容に関する小テストを行います
第11回	〈参考資料の作成と管理〉 ・参照のための要素を作成する、管理する ・参照のための一覧を作成する、管理する 〈キーボードタイピングの小テスト(3回目)〉 *授業後に授業内容に関する小テストを行います
第12回	<グラフィック要素の挿入と書式設定> ・図やテキストボックスを挿入する ・図やテキストボックスを書式設定する ・グラフィック要素にテキストを追加する ・グラフィック要素を変更する *授業後に授業内容に関する小テストを行います
第13回	< 文書の共同作業の管理 > ・コメントを追加する、管理する ・変更履歴を管理する

	*授業後に授業内容に関する小テストを行います								
第14回	<到達度確認テス ・キーボードタイ <授業のまとめ> ・評価について								
第15回	<到達度確認テス								
授業運営におけるICT活用	LMS等を利用して資 PC操作の学習のたる		小テストや課題の回収を行いま ℃を活用します。	きす。					
事前・事後学習の内容	特に、テキストを見	見ることなく ハトを操作で	計間を確保して下さい。 コンピューターや文書作成ア きるように十分復習してくだ			1時間	復習時間	3時間	
フィードバックの方法	講評を希望する学生	Eにはメーハ	、LMSのいずれかで対応します	•				·	
評価方法		評価割合			評価	基準など			
各回の小テスト				50%	詳細り	は [特記事項]	参照		
技能に関する課題	T			50%	詳細り	は [特記事項]	参照		
書名	著者		出版社	ISBN			備考		
よくわかるマスターMicrosoft Office Specialist Word 365&2019 対策テキスト& 問 題集	富士通エフ・オー・	エム	FOM出版	978-4-86	6510-4	30-1	定価:本体2,1 入必須)	定価:本体2,100円+税(購入必須)	
参考資料·URL	MOSとは https://mos.odysse MOS Word 365&20 https://mos.odysse	19(一般レ							
実務経験のある教員による授 業科目(実務経験の概要)	・私の主な勤務実績 いました。 ・大学教員となって	・この科目は実務経験を有する教員の担当する科目です。 ・私の主な勤務実績は、1987年から1997年まで複数のソフトウェア開発会社にてプログラマ・システムエンジニアを行っていました。 ・大学教員となってからは、複数企業のITコンサルティングを経験しました。 ・実務経験で得たノウハウを授業運営に活かしていきます。							
前年度の授業を踏まえた今年 度の授業	・PCを使うことに	・PCを使うことに慣れていない学生にも丁寧に指導します。							
特記事項	〈評価基準の詳細〉 成績評価は、下記項目で合計100点満点として行います。 ・各回の小テスト(50点) ・技能に関する課題(50点) *技能に関する課題については、授業内課題・確認問題・タイピングテスト・Word到達度確認テストなどで総合的に評価します。 原則として合計点が60点以上を合格としますが、点数に関わらず下記に該当する場合には、単位を認定しないことがあります。 ・指定されたテキストを用意していない場合 ・授業内課題の提出状況が悪い場合 ・第14回・第15回の到達度確認テストを受けていない場合 ・第14回・第15回の到達度確認テストを受けていない場合 ・添付資料のルーブリックに示した合格基準に達していない場合 〈欠席した場合〉 正当な理由があって欠席した場合は必ず公欠届を提出しましょう。 本授業は、講義と演習を組み合わせた授業となります。欠席した場合には、授業で行ったことをシラバスで確認し、次の授								

業までに教科書を見て必ず自学習しておいて下さい。

<自宅での学習環境について>

大学のPC実習室を利用できる時間には限りがありますので、自分のPCで学習できるように Microsoft Word など、Microsoft 365アプリをインストールしておいてください。

学期	2024年度後期 ナンバリングコード			102					
科目名称	ICTリテラシーB 開講言語 日本語								
担当教員		清水 智							
開講学科		経営学科							
科目群	ICTスキル	履修相当年次	14	Ŧ					
曜日時限	水曜2限	単位数	2単	位					
到達目標	①表計算ソフトの基本的な操作を行うことができる。 ②社会におけるデータ活用の重要性について説明できる。 ③表計算ソフトを用いて身の回りのデータを分析できる。								
関連DP	DP1-②(考え抜く力)	DP1-②(考え抜く力)							
授業概要	情報化社会といわれる今日では、コンピューターは社会のあらゆる分野で使用されるようになっており、ビジネスの分野でも多くのコンピューターが導入されています。 社会に出た場合には職務上でコンピューターを使用することが要求されます。また、いろいろなデータがコンピューターで処理されています。データ処理のアプリケーションソフトの1つに表計算ソフトがあります。この授業では、表計算ソフトの1つである「Excel」を使用して、ソフトの操作方法や表の作成やグラフの作成を学びます。最初は基本的な操作方法から始め、応用的な段階まで進んでいきます。 また、現代社会では、ビジネス・仕事を離れた様々な場面においても、表計算ソフトを使用することで効率化が図れます。例を挙げると、町内会(マンションの管理組合)の予算管理、PTA・子ども会の活動、スポーツやダンス・音楽イベントの主催・実施、同窓会の開催における会員管理や会計処理などがあります。 この授業は、複数の教員が開講します。クラスは事前に登録されます。登録されたクラスを受講するようにしてください。なお、授業内容や評価方法はクラス間で統一されています。								
利用するアクティブ・ラーニ ング手法	実習・フィールドワーク								

授業計画	
回数	内容
第1回	<ガイダンス> ・講義内容、授業の運営方法、予習・復習の方法の説明
第2回	< Excelの基本操作とワークシートやブックの管理>  ・ Excelの起動・終了、Excelの基本要素 ・ Excelの画面構成 ・ ブック内を移動する
第3回	<ワークシートやブックの管理> <pre>・ワークシートやブックの書式を設定する</pre> ・オプションと表示をカスタマイズする
第4回	<ワークシートやブックの管理> < 共同作業のためにコンテンツを設定する ・ ブックにデータをインポートする
第5回	<セルやセル範囲のデータの管理> ・シートのデータを操作する ・セルやセル範囲の書式を設定する(1)
第6回	<セルやセル範囲のデータの管理> ・セルやセル範囲の書式を設定する(2) ・名前付き範囲を定義する、参照する ・データを視覚的にまとめる
第7回	<テーブルとテーブルのデータ管理> ・テーブルを作成する、書式設定する

	・テーブルを変更する								
	<テーブルとテーフ	ブルのデータ	7管理>						
第8回	・テーブルのデータ	タをフィルタ	マーする、並べ換える						
第9回	・参照を追加する	数式や関数を使用した演算の実行 > 参照を追加する データを計算する、加工する							
第10回		数式や関数を使用した演算の実行> 文字列を変更する、書式設定する							
第11回	<グラフの管理> ・グラフを作成する・グラフを変更する・グラフを書式設定	グラフを作成する							
第12回		操作技能のまとめ>							
第13回	<ul> <li>・基本統計量につい</li> <li>・身の回りのデータ</li> <li>【データを読む】</li> <li>データの種類(量の)</li> <li>代表値の性質の)</li> <li>散布図と相関・相関・相関・相関・相関・相関・相関・相関・相関・相関・相関・相関・相関・相</li></ul>	<ul> <li>&lt;基本統計量の理解&gt;</li> <li>・基本統計量について知る</li> <li>・身の回りのデータや活用例について考える</li> <li>【データを読む】</li> <li>データの種類(量的変数、質的変数)/データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)代表値の性質の違い(実社会では平均値=最頻値でないことが多い)/データのばらつき(分散、標準偏差)散布図と相関・相関係数</li> <li>【データを説明する】</li> <li>データ表現(棒グラフ、折線グラフ、円グラフ、ヒストグラム、散布図など)データの図表表現(チャート化)</li> </ul>							
第14回	【データを扱う】 データの集計(利 データ解析ツール	・身の回りのデータを分析する							
第15回	・データ活用・分析	<データの分析のまとめ>  ・データ活用・分析到達度テスト (レポート) ・授業のまとめと振り返り							
授業運営におけるICT活用	LMSを利用して授業	資料を配布	<ul><li>、課題の解答などを回収し</li></ul>	ます。					
事前・事後学習の内容	授業の予習、復習には十分な時間(4時間程度)を確保して下さい。特にテキストを見ることなく表計算ソフトを操作できるように十分復習してください。 授業内で復習のための小テストや課題提出を行います。					2時間			
フィードバックの方法	講評を希望する学生にはメール、LMSのいずれかで対応します。								
評価方法		評価割合				評価基準など			
授業内小テストまたは授業課題	授業内小テストまたは授業課題				30%				
操作技能到達度テスト					40%				
データ活用・分析到達度テスト	(レポート)				30%				
書名	著者出版社				ISBN			備考	

よくわかるマスターMicrosoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト&問 題集	富士通エフ・オー・エム株式 会社						
はじめてのデータサイエンス	滋賀大学データサイエンス学 部・山梨学院大学ICTリテラ シー教育チーム 共編	学術図書出版社	978-4-7806-1102-1	定価:本体1,900円+税			
参考資料·URL	https://mos.odyssey-com.co.jpマイクロソフトオフィススペシ	マイクロソフトオフィススペシャリストとは https://mos.odyssey-com.co.jp/about/ マイクロソフトオフィススペシャリスト「Excel 365&2019(一般レベル)」 https://mos.odyssey-com.co.jp/outline/excel365and2019.html					
実務経験のある教員による授 業科目(実務経験の概要)							
前年度の授業を踏まえた今年 度の授業	数式を利用し、身近なデータの	数式を利用し、身近なデータの基本統計量を求められるようにする。					
特記事項	<欠席した場合> 正当な理由があって欠席した場合は必ず公欠届を提出しましょう。 本授業は、講義と演習を組み合わせた授業となります。 欠席した場合には、次の授業までに当日の授業内容について自身で補習し理解を深めておいてください。 <自宅での学習環境について> また、新型コロナウイルスの感染拡大などの状況により授業がオンラインになることがあります。 自宅でオンライン授業を受けられる環境とMicrosoft Excelを操作できる環境を整えておきましょう。						

学期	2024年度前期	ナンバリングコード	HN-II	N102				
科目名称	情報処理演習Ⅰ							
担当教員		清水 智、*荻野 早紀						
開講学科		管理栄養学科						
科目群	健康栄養学	履修相当年次	14	<b>‡</b>				
曜日時限	金曜2限	単位数	1単	位				
到達目標	<ul><li>2) コンピューターとネットワークの基本的な</li><li>3) 主要なアプリケーションソフトの操作技能</li><li>4) コンピューターおよびネットワークを活用</li></ul>	1) コンピューターによる情報処理の概念が理解できる(管理栄養学科DP①把握する力に関連)。 2) コンピューターとネットワークの基本的な特性と利用法について理解できる(管理栄養学科DP①把握する力に関連)。 3) 主要なアプリケーションソフトの操作技能と利用法について理解できる(管理栄養学科DP①把握する力に関連)。 4) コンピューターおよびネットワークを活用して、管理栄養士が必要とする情報の収集・分析・選別・構成・発信などの方法について修得する(管理栄養学科DP②考え抜く力と関連)。						
関連DP	DP1-②(考え抜く力)							
授業概要	受業形態:対面型を基本とします。状況によってはオンライン型(Zoom, UNIVERSAL PASSPORTなど)に切り替えることもあります。 本授業は実習機器運用管理などのために着席位置の指定を行います。 この科目の細目は管理栄養学科(総合基礎教育科目)演習です。単位区分は必修です。他学科履修はできません。 ICTが日常用語になりつつある今日、私たちは、家庭、社会、ビジネスなど様々な場面でたくさんの情報を収集し活用する必要性が高まっています。 それに伴い、私たちは自らコンピューターを利用し処理できる技能・能力が必要とされています。 本講義では、管理栄養士に必要な情報処理の手段としてのコンピューターやネットワークの活用能力をコンピューター実習を通じて身に付けることを目標としています。 具体的には、情報化社会と情報処理の意義、コンピューターとネットワークの基礎知識、コンピューターとネットワークの基本操作、主要なアプリケーションソフトの利用法、および栄養や保健に関する情報処理(情報の収集・分析・選別・構成・発信など)の方法についてコンピューター実習を中心とする演習を主体的に行いながら理解を深めます。 また授業においては、必要に応じてLMS(UNIVERSAL PASSPORT)を用いて課題の提示や提出など事前・事後学修を行います。							
利用するアクティブ・ラーニ ング手法	習・フィールドワーク							

授業計画	
回数	内容
第1回	ガイダンス 本授業の概要と方針、進め方や受講における心構えなどについて説明をします。 情報化社会と情報処理について 授業時に出題された課題を指定された期限までに処理するとともに、 授業で採り上げた要点や用語について探究するなど復習を行ない、 同時に授業で紹介する次回授業の要点について資料やwebの情報を調べるなど予習を行なってください。 次回以降も同様です。
第2回	情報処理のための情報学習環境の利用実習
第3回	windowsの基本操作と日本語入力実習
第4回	ワードプロセッシング実習(1)ビジネス文書の構成と基本的な編集機能を学ぶ
第5回	ワードプロセッシング実習(2)いろいろな文書の例と発展的な編集機能を学ぶ
第6回	ワードプロセッシング実習(3)図形や画像素材などを導入した各種文書の作成
第7回	インターネットの仕組みと電子メールに関する実習
第8回	WWWからの情報収集とホームページの基礎に関する実習
第9回	表計算実習(1)計算式を使った基本的な表計算の方法
第10回	表計算実習(2)関数を用いた基本的な表計算の方法
第11回	表計算実習(3)表の編集機能と相対・絶対参照を導入した処理
第12回	表計算実習(4)実用的な各種関数の使い方

第13回	プレゼンテーション	プレゼンテーションソフトの活用実習(1)プレゼンテーションソフトの基本と基礎的なスライドの制作							
第14回	プレゼンテーション	レゼンテーションソフトの活用実習(2)プレゼンテーションソフトにおける様々な素材を導入したスライド制作							
第15回	Officeアプリケーシ	ficeアプリケーションの連携処理に関する実習							
授業運営におけるICT活用		習室の資料提示用センターモニターと学内ネットワーク上の共有フォルダを通じた課題回収用の課題提出フォルダを利用 て、受講者の課題解答のチェックと解答内容に対するコメントのフィードバックを行っている。							
事前・事後学習の内容	とともに、授業時配し、整理しておいてのコンピューター処 予復習が大切ですの	授業計画の各回で演習した内容についてテキストを通読するとともに、授業時配布資料がある場合には、資料に目を通し、整理しておいてください。さらに授業時に出題した課題のコンピューター処理を行い、理解を深めてください。予復習が大切ですので、1回の授業あたり4時間程度の予復習をおこなってから授業に臨んでください。				2時間	復習時間	2時間	
フィードバックの方法		提出された授業時課題や期末総合課題の模範解答あるいは改善点などについて、必要に応じコメントを提供します。希望する 学生にはメール、LMS、あるいは直接、研究室で対応します。						します。希望する	
評価方法		評価割合			評価基準など				
授業課題				50%	50%				
期末総合課題				50%	50%				
書名	著者		出版社	ISBN	ISBN		備考		
30時間アカデミック Office2019	杉本 くみ子, 大澤 栄	<b></b>	実教出版	978-4407348330 定価:本体1,300円+税				,300円+税	
参考資料・URL	必要に応じてプリン 参考書は授業の進展		するファイルを配布します。 て適宜紹介します。						
実務経験のある教員による授 業科目(実務経験の概要)									
前年度の授業を踏まえた今年 度の授業	授業の進み方や説明の速さに注意して授業を行います。 また、演習を行う皆さんの理解がより一層深まるよう、一人ひとりの状況を確認しながら、 適切な助言(アドバイス)や質疑応答の機会を設けるなどの配慮をして授業を進めていきます。								
特記事項	積極的、主体的にコ また授業時に出題さ	業時間以外にもコンピューター実習室が開放されているときに、 極的、主体的にコンピューターを利用し、理解を深めるようにしてください。 た授業時に出題された課題は自己解決(解答)できるよう努力をしてください。 うしても分からないときには質問をしてください。							

学期	2024年度後期 ナンバリングコード		HN-I	N152					
科目名称	情報処理演習Ⅱ	開講言語	日本語						
担当教員		大柴 由紀							
開講学科		管理栄養学科							
科目群	健康栄養学	履修相当年次	1:	年					
曜日時限	火曜4限	単位数	1 単	拉位					
到達目標	1.管理栄養士業務に必要な情報を理解する。 2.栄養価計算ソフトの操作方法を修得する。 3.コンピューターを用いたアンケート集計方法を修得し、データの整理、提示ができる。 4.健康・栄養に関するデータの基礎的な統計学的処理を理解する。								
関連DP	DP1-①(把握する力)								
授業概要	【授業概要】 管理栄養士は健康や栄養に関する情報を協働者と共有し、同時に一般の人々にウェブやデジタル・プレゼンテーションを通じて広く伝達する能力が求められている。管理栄養士業務でよく用いられる、ワードやエクセルによる表作成と数式・関数等を用いた表計算、各種調査実施後の集計処理、献立作成ソフトによる栄養価の算出を行う。  【他分野・他の科目とのつながり】 この科目は情報処理演習Iで学んだことが基礎となる。この科目で学ぶことは、調理実習科目(基礎調理実習II)、給食系実習科目(給食運営実習、給食経営管理実習)、ライフステージと栄養管理の実践(栄養教育論、公衆栄養学)および疾病と栄養管理の実践(臨床栄養学)に関連し、さらに統合実習(臨地実習)につながる。								
利用するアクティブ・ラーニ ング手法	グループワーク/プレゼンテーション/実習・	フィールドワーク		グループワーク/プレゼンテーション/実習・フィールドワーク					

授業計画	
回数	内容
第1回	「本授業の成績評価基準を、左記【配布資料】に掲載しているため必ず確認すること」 講義・実習: ガイダンス アカデミックライティングについて
第2回	講義・実習: 管理栄養士としての献立表記の基本 レシピ表記の基本
第3回	講義・実習:     栄養計算ソフトの基本     スマート栄養計算の使い方     献立の栄養価計算…課題レポート①
第4回	講義・実習: 栄養計算ソフトの活用 昼食1食分の献立作成
第5回	講義・実習: エクセルの活用① 栄養管理業務に必要な帳票の作成 (作業指示書)課題レポート②
第6回	講義・実習: エクセルの活用② 栄養管理業務に必要な帳票の作成 (作業工程表)課題レポート③
第7回	講義・実習: エクセルの活用③ 栄養管理業務に必要な帳票の作成 (食材日計表)…課題レポート④

第8回	講義・実習:										
第9回		構義・実習:     ワードやパワーポイントの活用②     献立紹介リーフレットの作成…課題レポート⑤									
第10回											
第11回	講義・実習: データ分析② 基本統計量、処理										
第12回	講義・実習: データ分析③ グラフの作成	データ分析③									
第13回		講義・実習:     アンケート集計の手法①     アンケート集計とデータ化									
第14回	講義・実習:     アンケート集計の手法②     グラフの作成と考察										
第15回	実習: 授業内小テスト	実習:       授業内小テスト (確認テスト)									
授業運営におけるICT活用											
事前・事後学習の内容	情報処理演習Iで学んだエクセルの統計関数やグラフ作成について復習しておいてください。 配布資料の理解とノートの整理を中心に予復習(2時間以上)を励行して下さい。 授業時に指定した課題を期日内に完結させるため、自主的な表計算作業が必要です。 授業の詳細や資料の提示は、授業中またはTeamsを通じて示します。 わからないこと、もう一度説明してほしいことはその都度教員に確認してください。										
フィードバックの方法	授業内で実習作業の 必要に応じて評価指										
評価方法		評価割合		評価基準など							
課題レポート			50%								
授業内確認テスト	50%										
参考資料・URL	【参考書】 情報処理演習Iで使用したテキスト										
実務経験のある教員による授 業科目(実務経験の概要)	この授業を担当する教員は、管理栄養士として20年以上の経験を有しています。										
前年度の授業を踏まえた今年 度の授業	実技を取り入れた具体的で詳しい説明が好評のため、継続します。 学生の理解度に合わせて、授業の進捗や方法を調整し、柔軟に対応します。 栄養価計算の基礎技術および調査集計の基礎技術を習得するために、それぞれの演習について解説を充実させていきます。										
特記事項	【上記以外で伝えたいこと・授業のルールなど】 専門職として習得すべき技術の基礎を網羅しています。欠席した授業の演習は自習し、課題を提出してください。 なお、授業内容については、学生の理解度や状況等にあわせ、若干変更する可能性があります。										

開講学科	国際リベラルアーツ学科								
学期	2024年度前期	2024年度前期 開講年度 毎年							
ナンバリング	FNDN/DATA090	FNDN/DATA090							
科目名称	Introduction to Data Science	Introduction to Data Science							
履修前提要件	None								
担当教員	PARIDA Abhishek、JHINGAN Sanjay	PARIDA Abhishek、JHINGAN Sanjay 配当年次 1年							
科目区分	基幹教育     単位数   1単位								
授業形態	演習								

(注記 1) クラスの規模や施設の収容人数によっては、コースの登録を希望するすべての学生に対応できない場合があります

授業概要	In today's world, data science is fundamental to scientific inquiry, complementing theoretical frameworks and empirical experiments. Across various institutions and organizations worldwide, evidence-based decision-making is pivotal. This course aims to enhance students' comprehension of data's role and equip them with skills in data acquisition, mining, analysis, and visualization technologies.
前年度の授業を踏まえた今年 度の授業	N/A
実務経験のある教員による授 業科目(実務経験の概要)	N/A
到達目標	This introductory data science course is tailored for undergraduates with diverse academic backgrounds. It has no prerequisites, and prior knowledge of statistics or computer programming is unnecessary. The goal is to introduce students to the world of Data Science and Artificial Intelligence by exploring key ideas and concepts. The course does not involve advanced mathematics; instead, it emphasizes understanding what can be gleaned from data rather than performing complex analyses.

関連DP	DP1/DP2/DP3/DP4
------	-----------------

#### iCLA ディプロマ・ポリシー

- (DP1) 口頭及び文書による高いコミュニケーション能力を修得し、有益な知識を効果的に伝達することができる
- (DP2) 批判的思考力・創造力・問題解決能力・グローバルな意識を身につけ、多様に変化する社会に適応し、貢献する意欲をもっている
- (DP3) グループ活動において、効果的に協働・連携することができる
- (DP4) 個人的及び社会的な責任感を持ち、倫理的・道徳的な価値判断に基づいた社会貢献ができる

アクティブ・ラーニングの方 法	PBL(課題解決型学習)/反転授業/ディスカッション・ディベート/グループワーク/プレゼンテーション						
アクティブ・ラーニングの詳 細・追加情報	N/A						
授業運営におけるICT活用	N/A						
事前・事後学習の内容	Students are advised to take handwritten notes; this will drastically increase their ability to retain the information. Further, they are expected to practice regularly. One to two hours of study is required before the class preparation, and an equal amount of practice is needed after each lecture.	1週間当たりの予習時間	1時間	1週間当たりの復習時間	1時間		
フィードバックの方法	The best way to correspond during the course is the UNIPA system or direct emails. Please check the UNIPA account regularly for updates related to classes. To have a better grade, be regular in the study, active and attentive in the class, derevision of classwork regularly, and participate in-class quizzes.						

評価基準						
評価方法	評価割合	評価内容				
Understanding of Concepts	25%	Class Quizes				

Participation in Group Activities	25%	In-class Participation
Presentation	50%	Final Presentation (lecture 15))

テキスト・参考書	Data Science: John Kelleher and Brendan Tierney The art of statistics – Learning from data: David Spiegelhalter
参考資料・URL	N/A
特記事項 - 剽窃	Plagiarism is the dishonest presentation of others' work as if it were one's own. Duplicate submission is also treated as plagiarism. Depending on the nature of plagiarism, one may fail the assignment or the course. The repeated act of plagiarism will be reported to the University, which may apply additional penalties.
特記事項 - その他	N/A

#### (注記 2) 授業計画は変更になる場合があります

	授業計画
回数	内容
第1回	Module 1: Data and Al in Contemporary Society  Lecture 1 - Overview of Data Science: Definition and Applications; Examples of some real-world applications
第2回	Module 2: Nature of Data & Statistics Lecture 2 - Statistical thinking – story telling by data, case studies
第3回	Lecture 3 - What are data , and what is a data set - Variable types, plots
第4回	Lecture 4 - Summarizing and communicating numbers - Measure of Central Tendency, variance, and relative levels
第5回	Lecture 5 - What are we looking in data - Sample, population, Bell curve etc.
第6回	Lecture 6 - What causes what - Correlation, Covariance and Regression
第7回	Module 3: Privacy and Ethics in Data Science Lecture 7 - Ethical Considerations and Challenges; Case Studies
第8回	Module 4: Story telling with Data Lecture 8 - Exploratory Data Analysis (EDA) - Definition, Importance, Pre-requisite; Types of Data
第9回	Lecture 9 - Python implementation of Statistical concepts, Types of plots, Data Visualization techniques, and Case Studies
第10回	Lecture 10 - Exploratory Data Analysis - Case Study
第11回	Lecture 11 - Exploratory Data Analysis - Case Study
第12回	Module 5: Machine Learning and its Types Lecture 12 - Types of Learning, types of ML problems; Future of Data Science
第13回	Module 6: Big Data, Data Structures and Algorithms Lecture 13 - Introduction to Big Data; Its characteristics; application
第14回	Module 7: Foundations of Data Structures and Algorithmic Techniques Lecture 14 - Introduction to Data Structure and selected sorting and searching algorithms

5	月15回	Lecture 15 - Presentation and Story-Telling Assessment

# 03\_(山梨学院大学)\_変更後のプログラムが全学部等に開講されていることがわかる資料

・2024年度教育課程表(全学部)

2024年度 教育課程表 **<法学部法学科>** 【1~4年生共通】

-	学部法学科>	400 W					4年度	教育課程表		00 W		T		[1	<u>~4年</u>	生共通
レベル 区分	科目	100番 単位 科 目	単位	科目	20 単位	00番 科 目	単位	科目	3 単位	00番 科 目	単位	科目	400番 単位	科目	単位	卒業 要件
	《政治学》 政治学概論 I 現代中国の政治	<ul><li>② 政治学概論 I</li><li>② 近代ヨーロッパの社会 公務員の仕事 アジア共同体論 現代中国の社会・経済</li></ul>	2 2 2 2 2	財政学A 外交史A 日本政治史A 国際関係論(概論)I 国際地域研究I 警察の研究	2 2 2 2 2 2 2 2	財政学 B 外交史 B 日本政治史 B 国際政治 II 国際関係論(概論) II 国際地域研究 II 比較政治	2 2 2 2 2 2 2 2	国際公共政策 A 国際文化研究 I 行政学 I	2 2	国際公共政策B	② ② ②					ただし卒業要法学部に所属
学部	政治学概論 I (中国語) 日本政治社会論 I (中国語)	<ul><li>② 政治学概論 I (中国語)</li><li>② 日本政治社会論 II (中国語)</li></ul>		警察政策論 国際関係論(概論) I (中国語 外交論入門 I (中国語)	2	国際関係論(概論) II (中国 外交論入門 II (中国語) 比較政治(中国語)	2 2	多国間交渉論 I (中国語)		多国間交渉論Ⅱ(中国語)	2					件として生
専攻科目	法学概論 憲法 A 民法 A 日本の法と文化	<ul><li>② 憲法B</li><li>② 民法B</li><li>② 不動産取引と法 I (休講)</li></ul>	2	民法 C 刑法 A 企業法 A 企業法 C 民事訴訟法 A 刑事訴訟法 A 犯罪政策 A 行政法 I 中国法 A 日本法制史 A 不動産取引と法 I (休講)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	民法D 刑法基 B 企業訴訟法B 民事訴訟法B 刑事訴訟法B 犯罪政策 B 行政法 I 中国法B 日本法制史 B	2 2 2 2 2 2 2 2 2	労働法 A 国際法 I 企業决済と法 I 金融达法 I 環境法 A 国際私法 A 少年法 知的財産法	2	環境法 B 国際私法 B 自治体法	2 2 2 2 2 2 2 2					、合計124単位以は、〈政治学〉〈法
	<演習>	<ul><li>② ◇基礎演習 I</li><li>② ◇アカデミックスキル II</li><li>② ◇アカデミックスキル II (中国語)</li></ul>	2	ゼミナール入門 Ι	2	ゼミナール入門I	2	ゼミナール I	2	ゼミナールI	2	ゼミナールⅢ	② ゼミナ-	-JUIV	2	以上を修
	<経営学>経営学概論 現代社会とビジネス	<ul><li>② ビジネスゲーム</li><li>②</li></ul>		経営戦略論 経営管理論 経営組織論 アントレブレナーシップ eビジネス論(休講) 投資と資産形成	② ②	技術経営 ファイナンス ビジネスエコノミクス リーダーシップ スポーツとビジネス	② ② ② ② ② ②	人的資源管理 イノベーション・マネジメント 経営倫理 オベレーション管理 情報セキュリティー	② ②	ツーリズムマネジメント ソーシャルビジネス(休講) ものづくり経営 農業経営	2 2 2 2					得すること。演習〉の分野
	経営学概論(中国語) 日本のビジネス(中国語)	2		経営戦略論(中国語) 経営管理論(中国語) 経営組織論(中国語) eビジネス論(中国語) (休講	② ②	ファイナンス(中国語) ビジネスエコノミクス(中国語)	2 2									野から合
	マーケティング概論 マーケティング概論 マーケティング概論(中国語)	2		流通論 プロモーション戦略論 流通論(中国語)	2 2 2			リテールマーケティング ブランドマネジメント リテールマーケティング(中国語)	2	サービスマーケティング 国際マーケティング サービスマーケティング(中国語	② ② ③					計 6 2
	<b>&lt;会計学&gt;</b> 簿記概論 会計学概論	② 工業簿記 ② 商業簿記	2	プロモーション戦略論(中国語)財務会計論管理会計論	2 2 2	税理士による租税講座(休記	满) ②	ブランドマネジメント(中国語) 税務会計論(休講)	2	国際マーケティング(中国語)	2					単 位 以
	簿記概論(中国語) 会計学概論(中国語) <b>〈経済学〉</b> 経済学概論	② 工業簿記(中国語) ② 商業簿記(中国語)	2	財務会計論(中国語) 管理会計論(中国語) ミクロ経済学	2	金融論	2	公共経済学	2	国際貿易	2					上 を 修
	経済学概論(中国語)	2		マクロ経済学 マクロ経済学(中国語) マクロ経済学(中国語)	2	金融論(中国語)	2	公共経済子 財政政策と金融政策 財政政策と金融政策(中国語	2	国際金融 国際貿易(中国語)	2 2 2					得 す る
学部専攻科	歴史学 I 論理学 I 倫理学 I 文化人類学 I ジエンダー学 I 心理学 I 宗 社会学 I 七地理学 I 日本史 I 地誌学 日本史 I 地球科学 I は球科学 I は球科学 I (休講) 科学史(休講)	<ul> <li>歴史学 I</li> <li>論理学 I</li> <li>会化人類学 I</li> <li>ジェンダー学 I</li> <li>心理学 I</li> <li>宗教と人間 I</li> <li>社会学 I</li> <li>地理学 I</li> <li>日本史 I</li> <li>世界史</li> <li>統計学 I</li> <li>エネルギー科学</li> <li>数学 I</li> <li>地球科学 I (休講)</li> </ul>		中国の歴史・文化(中国語)	(2)											•
目以外	<ictスキル> ◇ICTリテラシー A ◇デークサイエンス コンビューター基礎理論 ◇ICTリテラシー A (中国語) ◇三番スキル&gt;</ictスキル>	② ◇ICTリテラシ-B ② ② ◇ICTリテラシ-B(中国語) ②	2	情報社会の権利と倫理 資格情報技術 デジタルデザイン	2	ICTと情報社会 ソフトウェア開発論 データ分析	2 2 2	ICTの社会活用の実践 A	2	ICTの社会活用の実践 B	2					
	◇言語技術 I アクティブ・リーディング <b>&lt;ヒューマンスキル&gt;</b> 学びと社会のデザイン I	② ◇言語技術 II ② アクティブ・ライティング	2	学びと社会のデザインⅡ	2											
	ウェルビーイング I <b>〈国際共修〉</b> 国際共修入門 異文化コミニケーション A 国際コミニケーション I 留学ブランニング	<ul><li>② ウエルビーイング I</li><li>② 異文化コミュニケーション B</li><li>②</li><li>②</li><li>②</li></ul>	2	ピア・サポート実践A  日本文化交流 A アニメと社会 A 国際フェニケーション II 国際文化交流 A 中国文化交流 A 海外文化研修 A	2 2 2 2 2	ビア・サボート実践B 日本文化交流 B アニメと社会 B 国際文化交流 B 中国文化交流 B 海外文化研修 B	2 2 2 2 2 2 4									
	<b>&lt;語学&gt;</b> 実用英語(日常生活) A 実用英語(旅行・留学) A 総合英語 I	① 実用英語(日常生活)B ① 実用英語(旅行・留学)B ② 総合英語 II	① ②	資格英語(TOEIC)I A	1	資格英語(TOEIC)I B	1	資格英語(TOEIC) II A(休講	i) 1	資格英語(TOEIC) II B(休	<b>第)</b> ①					
	◇日本語 I ◇日本語特講 I 実用日本語 I A 基礎中国語 I	<ul> <li>② ◇日本語 I</li> <li>② ◇日本語特講 I</li> <li>② 実用日本語 I B</li> </ul>		※外国人留学生として入学し 実用日本語 II A アカデミック日本語 I A キャリア日本語 I A 初級中国語 I	② ② ②	み、「日本語」「日本語特講」原 実用日本語 II B アカデミック日本語 I B キャリア日本語 I B(休講) 初級中国語 II	2 2 2	アカデミック日本語 II A(休講) キャリア日本語 II A(休講) 中級中国語 I	2	アカデミック日本語 II B(休講 キャリア日本語 II B(休講) 中級中国語 II	) 2 2 2					
		<ol> <li>スポーツ実践(軽スポーツ I)</li> <li>スポーツ実践(軽スポーツ I)</li> <li>スポーツ実践(ドレーニング実践)</li> <li>スポーツ実践(卓球)</li> <li>競技スポーツ実践 B</li> </ol>	① ① ① ②	競技スポーツ実践 C スポーツと法 スポーツ科学 スポーツ社会学	2	競技スポーツ実践 D スポーツ指導論 コーチング基礎	① ② ②	競技スポーツ実践E	1	競技スポーツ実践F	①					
	ワークルール論:働くための基礎知識 ファイナンシャル・リテラシー(休講) 産業と職業の研究 グローバル人材の形成	<ul><li>② セルフブランディング</li><li>② クオリティ・オブ・ライフの探究</li></ul>	② ②	キャリアデザイン基礎 ビジネス・コミュニケーション I 女性とキャリア形成	2	キャリアデザイン発展 インターンシップ アスリートのキャリア形成	4	実践キャリア論(休講) ビジネス・コミュニケーション Ⅱ インターンシップ(公務)	② ② ④							
	キャリア開発入門(中国語) 教職課程(自由科目)に関する <b>&lt;教科の指導法に関する科目</b> (	② 5科目です。卒業要件単位数には入りま 【社会・公民) >		キャリア開発演習(中国語)	② 键課程履修	を規程に従うこと。 ※ただし、 	2021年度以	ス前入学生については、<教職	専門科目	3>16単位を卒業要件単位数	に含む。					
教								社会科·公民科教育法 社会科教育法	4 4							
職 課 程	<教職専門科目> (3項)			教職概論 教育心理学 (中・高) 特別活動論 生徒指導・教育相談 教育におけるICT活用	② ② ②	教育課程論 教育社会学(中·高) 教育方法論(中·高) 進路指導論 特別支援教育概論	2	学校と教育の歴史 道徳教育指導論 (中) 総合的な学習 探究の時間の指導法 介護等体験実習 (季前事後指導を含む)	<u>t</u> 1	※中一種のみ		教育実習研修 教育実習 I 教育実習 I	② 教職実 ② ① ※中一	選演習(中・高) 種のみ	2	

いエルマルリ
①レベルは、履修相当年次の目安にしてください。100番台=1年次、200番台=2年次、300番台=3年次、400番台=4年次相当です。詳細は、履修ガイドブックを確認してください。
②グレーの網掛けは2024年度体講科目です。科目名のうしろに"休講"が記入されています。
③科目名に「くうがついている科目は、2024年度入学生全員を対象とした履修指定科目です。指定された曜日時限のクラスで必ず履修をしてください。
④上記は学びの領域ごとに色分けしています。

学問分野別科目群 特定の学問分野について学修します。

スキル系科目群 社会生活に役立つスキルを身につけます。

<b>〈経営学部経営学科〉</b>	2024年度 教育課程表	【1~4年生共通】

ベル	名子 <b>印</b> 桩名子科/	100番		200番	2024年度 教師	300番			400番	11~44
分	〈経営学〉		単位 科 目		単位 科 目	単位 科 目	単位	科目	単位 科	目 単位
	経営学概論 現代社会とビジネス	<ul><li>② ビジネスゲーム</li><li>②</li></ul>	<ul><li>経営戦略論</li><li>経営管理論</li></ul>	<ul><li>② 国際経営(休講)</li><li>② 技術経営</li></ul>	<ul><li>② 人的資源管理</li><li>② イノベーション・マネジメント</li></ul>	<ul><li>② ツーリズムマネジメント</li><li>② ソーシャルビジネス(休講)</li></ul>	② ②			
			経営組織論 アントレプレナーシップ	<ul><li>② ファイナンス</li><li>② ビジネスエコノミクス</li></ul>	<ul><li>② 経営倫理</li><li>② オペレーション管理</li></ul>	<ul><li>② ものづくり経営</li><li>② 農業経営</li></ul>	② ②			
			eビジネス論(休講) 投資と資産形成	② リーダーシップ ② スポーツとビジネス	② 情報セキュリティー	2	Ü			
		2	経営戦略論(中国語)	② ファイナンス(中国語)	2					
	日本のビジネス(中国語)	2	経営管理論(中国語) 経営組織論(中国語)	② ビジネスエコノミクス(中国語) ②	2					
	<b>&lt;マーケティング&gt;</b>		eビジネス論(中国語)(休講)							
学	マーケティング概論	2	流通論 プロモーション戦略論	② 消費者行動論 ②	② リテールマーケティング ブランドマネジメント	<ul><li>② サービスマーケティング</li><li>② 国際マーケティング</li></ul>	2			
与 女	マーケティング概論(中国語)	2	流通論(中国語) プロモーション戦略論(中国語)	<ul><li>② 消費者行動論(中国語)</li><li>②</li></ul>	② リテールマーケティング(中国語) ブランドマネジメント(中国語)	<ol> <li>サービスマーケティング(中国語)</li> <li>国際マーケティング(中国語)</li> </ol>				
4	<b>&lt;会計学&gt;</b> <sup>(2) - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - </sup>	® T###=7					2			
	会計学概論	② 商業簿記	<ul><li>② 財務会計論</li><li>② 管理会計論</li></ul>	② 税理士による租税講座(休講)	② 7九分五百 計冊(1个時)	2				
	会計学概論(中国語)		<ul><li>② 財務会計論(中国語)</li><li>② 管理会計論(中国語)</li></ul>	② ②						
-	<b>&lt;経済学&gt;</b> 経済学概論	2	ミクロ経済学	② 金融論	② 公共経済学	② 国際貿易	2			
L		2	マクロ経済学 ミクロ経済学(中国語)	② 金融論(中国語)	財政政策と金融政策	② 国際金融 国際貿易(中国語)	2			
Į			マクロ経済学(中国語)	② 並成為明(千里四)	財政政策と金融政策(中国語)		2			
ŀ	<b>&lt;演習&gt;</b> ◇基礎演習 I		② ゼミナール入門 I	② ゼミナール入門 II	② ゼミナール I	② ゼミナール II	2	ゼミナールⅢ	② ゼミナールIV	2
			2 2							
ŀ	<b>&lt;政治学&gt;</b> 政治学概論 I	② 政治学概論 II	② 財政学 A	② 財政学B	② 国際公共政策 A	② 国際公共政策 B	2			
	現代中国の政治		<ul><li>② 外交史A</li><li>② 日本政治史A</li></ul>	<ul><li>② 外交史B</li><li>② 日本政治史B</li></ul>	② 国際文化研究 I ② 行政学 I	<ul><li>② 国際文化研究 II</li><li>② 行政学 II</li></ul>	② ②			
		アジア共同体論	② 国際政治 I ② 国際関係論(概論) I	<ul><li>② 国際政治 II</li><li>② 国際関係論(概論) II</li></ul>	2 2					
		ON OF BUILD MEN	国際地域研究 I	② 国際地域研究Ⅱ	2					
	T. V. M. 100		警察の研究 警察政策論	<ul><li>② 比較政治</li><li>②</li></ul>	2					
			<ul><li>② 国際関係論(概論) I (中国語)</li><li>② 外交論入門 I (中国語)</li></ul>	② 外交論入門 II (中国語)	<ul><li>② 多国間交渉論 I (中国語)</li><li>②</li></ul>	② 多国間交渉論 II (中国語)	2			
	<法学>			比較政治(中国語)	2					
	法学概論 憲法A	② ② 憲法 B	民法C ② 刑法A	② 民法D ② 刑法B	<ul><li>② 労働法 A</li><li>② 国際法 I</li></ul>	<ul><li>② 労働法 B</li><li>② 国際法 II</li></ul>	② ②			
	民法 A 日本の法と文化	② 民法B	② 企業法 A ② 企業法 C	② 企業法B ②	② 企業決済と法 I 金融と法 I	② 企業決済と法 II ② 金融と法 II	2			
		TIME AND TO PROPERTY	民事訴訟法A	② 民事訴訟法 B	② 環境法 A	② 環境法B	2			
			刑事訴訟法A 犯罪政策A	<ul><li>② 刑事訴訟法 B</li><li>② 犯罪政策 B</li></ul>	<ul><li>② 国際私法 A</li><li>② 少年法</li></ul>	<ul><li>② 国際私法 B</li><li>② 自治体法</li></ul>	2			
			行政法 I 中国法 A	② 行政法II ② 中国法B	② 知的財産法	② 国際貿易と法	2			
			日本法制史A 不動産取引と法 II (休講)	② 日本法制史 B	2					
ļ	< <b>人文・社会・自然科学&gt;</b> 哲学 Ⅰ	② 哲学Ⅱ	2							
	歴史学 I	② 歴史学Ⅱ	2							
	論理学Ⅰ 倫理学Ⅰ	② 倫理学Ⅱ	2							
	文化人類学 I ジェンダー学 I		2 2							
	心理学 I	② 心理学Ⅱ	2							
	宗教と人間 I 社会学 I	② 社会学 II	2							
	地理学 I 日本史 I		2							
	地誌学 日本国憲法	② 世界史	2 2							
	生物学 I	② 生物学 II	2							
¥	宇宙科学 数学 I	② 数学Ⅱ	2 2							
		② 地球科学 I (休講) ②	2							
女 4		② 日本の文学 II (中国語)	② 中国の歴史・文化(中国語)	2						
i 目 以			② 情報社会の権利と倫理	② ICTと情報社会	② ICTの社会活用の実践 A	② ICTの社会活用の実践 B	2			
х <b>ү</b>	コンピューター基礎理論	<ul><li>2</li><li>2</li></ul>	資格情報技術 デジタルデザイン	<ul><li>② ソフトウェア開発論</li><li>② データ分析</li></ul>	2 2					
ſ		<ul><li>② ◇ICTリテラシー B (中国語)</li><li>②</li></ul>	2							
ļ	<b>&lt;言語スキル&gt;</b> ◇言語技術 I	② ◇言語技術Ⅱ	2							
}	アクティブ・リーディング < <b>ヒューマンスキル</b> >		2							
	学びと社会のデザイン I	<ul><li>②</li><li>② ウェルビーイング Ⅱ</li></ul>	学びと社会のデザインⅡ ② ピア・サポート実践A	② ② ピア・サポート実践B	2					
	<国際共修>									
	異文化コミュニケーションA		日本文化交流A アニメと社会A	<ul><li>② 日本文化交流 B</li><li>② アニメと社会 B</li></ul>	2 2					
	国際コミュニケーション I 留学プランニング	2	国際コミュニケーション II 国際文化交流 A	② ② 国際文化交流 B	2					
			中国文化交流 A 海外文化研修 A	<ul><li>② 中国文化交流 B</li><li>④ 海外文化研修 B</li></ul>	② ④					
ļ	<b>&lt;語学&gt;</b> 実用英語(日常生活) A	① 実用英語(日常生活)B	① 資格英語(TOEIC)I A	① 資格英語(TOEIC)IB	① 資格英語(TOFIC) II A (休識)	① 資格英語(TOEIC) II B (休講	§) ①			
	実用英語(旅行·留学) A	① 実用英語(旅行·留学)B	1 2		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				
	◇日本語 I	② ◇日本語 II	2	学生のみ「口本語」「口本語は胃に	S 定利日					
		② 実用日本語 I B	② 実用日本語 II A	学生のみ、「日本語」「日本語特講」履修 ② 実用日本語 II B	2					
	* 日本語入門	②	アカデミック日本語 I A キャリア日本語 I A	<ul><li>② アカデミック日本語 I B</li><li>② キャリア日本語 I B(休講)</li></ul>	② キャリア日本語 II A (休講)	<ul><li>② アカデミック日本語 II B (休講)</li><li>② キャリア日本語 II B (休講)</li></ul>	2			
- [	<b>&lt;スポーツ&gt;</b>		② 初級中国語 I	② 初級中国語 Ⅱ	② 中級中国語 I	② 中級中国語 II	2			
	スポーツ実践(バスケットボール)		① ①							
	スポーツ実践(バドミントン)	① スポーツ実践(トレーニング実践)	10							
	競技スポーツ実践 A	① 競技スポーツ実践 B	① 競技スポーツ実践 C ② スポーツと法	<ol> <li>競技スポーツ実践 D</li> <li>スポーツ指導論</li> </ol>	<ol> <li>競技スポーツ実践 E</li> </ol>	① 競技スポーツ実践 F	1			
	スポーツ経営字 スポーツ心理学	<ul><li>② トレーニング論</li><li>②</li></ul>	スポーツ科学	② コーチング基礎	2					
	<キャリア形成支援>		スポーツ社会学	2						
١	ワークルール論:働くための基礎知識 ファイナンシャル・リテラシー(休講)	2	② キャリアデザイン基礎 ビジネス・コミュニケーション I	<ul><li>② キャリアデザイン発展</li><li>② インターンシップ</li></ul>	<ul><li>② 実践キャリア論(休講)</li><li>④ ビジネス・コミュニケーション II</li></ul>	2				
	産業と職業の研究	② セルフブランディング	<ul><li>② 女性とキャリア形成</li><li>②</li></ul>	② アスリートのキャリア形成	2					
		2	キャリア開発演習(中国語)	2						
ý	中国語総合 I	⑥ 中国語のリスニングとスピーキング I	4					論文指導	2	
ダブル	中国語総合 I	④ 中国概論	<b>4</b> <b>2</b>							
ダブルディック	ビジネス中国語		2 2							
ダ ブルディ グリー	高等数学 I 高等数学 Ⅱ		。教職課程の履修については、教職語	果程履修規程に従うこと。 ※ただし、20:	21年度以前入学生については、<教職	<b>専門科目&gt; 16単位を卒業要件単位</b>	数に含む。	,		
ダ ブルディ グリー	高等数学 I 高等数学 II 教職課程(自由科目)に関する私	<b>● MARIO 1985年</b> 科目です。卒業要件単位数には入りません <b>◇)&gt; ※2024年度以降入学生対象</b>			ALAMA A DANAGES AND THE	4				
ダ ブルディ グリー	高等数学 I 高等数学 II 教職課程(自由科目)に関する私	料目です。卒業要件単位数には入りません			社会科·公民科教育法(休講) 社会科教育法(休講)	4				i i
ダブルディ グリー 下は、 数	高等数学 I 高等数学 II 教職課程(自由科目)に関する私	科目です。卒業要件単位数には入りません 記)> ※2024年度以降入学生対象			社会科教育法(休講)	4		准攻,職举华海	(A)	
ダブルディックリー Fは、	高等数学 I 高等数学 I 教職課程(自由科目)に関する材 〈教科の指導法に関する科目(社会	料目です。卒業要件単位数には入りません 記)> ※2024年度以降入学生対象	ahtei arrin		社会科教育法(休講) 商業科教育法	4		進路·職業指導	(4)	5 克
ダブルディグリートは、	高等数学 I 高等数学 II 技術課程(自由科目)に関する科 《教科の指導法に関する科目(社会 《教科の指導法に関する科目(社会	料目です。卒業要件単位数には入りません 記)> ※2024年度以降入学生対象	教職概論 教育心理学 (中·高)	② 教育課程論 ② 教育社会学 (中·高)	社会科教育法(休講) 商業科教育法 ② 学校と教育の歴史 道徳教育指導論(中)	<ul><li>④</li><li>②</li><li>②</li><li>② ※中一種 (社会) のみ</li></ul>		教育実習研修 教育実習 I	② 教職実践演習(	
ジブルディブリ は、 女 戦 果	高等数学 I 高等数学 II 技術課程(自由科目)に関する科 《教科の指導法に関する科目(社会 《教科の指導法に関する科目(社会	料目です。卒業要件単位数には入りません 記)> ※2024年度以降入学生対象			社会科教育法(休講) 商業科教育法 ② 学校と教育の歴史	④ ② ② ※中一種 (社会) のみ ①		教育実習研修	② 教職実践演習(「	

スキル系科目群社会生活に役立つスキルを身につけます。 キャリア形成支援 将来のキャリア形成について考えます。 学問分野別科目群 特定の学問分野について学修します。

は記載・現 ①レベルは、履修相当年次の目安にしてください。100番台=1年次、200番台=2年次、300番台=3年次、400番台=4年次相当です。詳細は、履修ガイドブックを確認してください。 ②グレーの網掛けは2024年度休講科目です。科目名のうしろに"休講"が記入されています。 ③科目名に「◇」がついている科目は、2024年度入学生全員を対象とした履修指定科目です。指定された曜日時限のクラスで必ず履修をしてください。 ④科目名に「\*」がついている科目は、高考特別入試で入学した学生のみ履修可能な科目です。 ⑤上記は学びの領域にどに色分けしています。

L	区分	JL	ーツ科学科> 料 目	100番		024年度 教育課程 200番 4位 科 目	NH CO		300番	NAT-CC:	400番	科目単位		【1年 要件 24単位)
	$\overline{}$	· · · · · · · ·	科 目 *スポーツキャリア演習 I *スポーツキャリア演習 I	学位 科 目 学 ② ②	*スポーツキャリア演習Ⅲ (	和 目 2 2 2	-0471L	44 El	+=		料 目 単位	科目単位	必修 4科目8単位	~ T==(U.)
	人文	•社会科学系	スポーツ史 スポーツ哲学(体育原理を含む) コーチング論(運動学、運動ア スポーツ社会学	② スポーツ経営学 ② 野外活動・教育論 ⑤法学を含む) ② スポーツ政策論		Ð							選択必修 7科目14単位以上	
スポ	É	1然科学系	スポーツ心理学 機能解剖学 スポーツ健康科学論 スポーツ生理学 体力論 スポーツパイオメカニクス	<ul> <li>② スポーツ教育論</li> <li>② トレーニング論</li> <li>②</li> <li>② スポーツ栄養学</li> <li>② スポーツ医学</li> <li>② スポーツの要素論</li> </ul>									選択必修 7科目14単位以上	
ーツ基礎科目	実技	a ##	大小一のパイタルニング 実技実習a(ドレーニング/体 実技実習a(ダンス) 実技実習a(際植運動) 実技実習a(陸上競技: 短距離 実技実習a(陸上競技: 長距離 実技実習a(水泳・水中運動) 実技実習a(スケート)	つ(り運動) ① ① ① D									選択必修 2科目2単位以上	<b>42単位以</b> を修得する
	実習系			<ol> <li>実技実習b(パレーボール)</li> <li>実技実習b(テニス)</li> <li>実技実習b(ソフトボール)</li> </ol>									選択必修 2科目2単位以上	
		c 群	実技実習c(柔道) 実技実習c(レスリング)	① 実技実習c(空手道) ① ①									選択必修 1科目1単位以上	
		d群	実技実習d(野外活動: キャンフ) 実技実習d(野外活動: 水辺)	<ol> <li>実技実習d(野外活動:雪上) (1</li> </ol>	)			- スポーツ専門演習 I	②	* 7 #_W	野演習Ⅲ ②		選択必修 1科目1単位以上 必修	
スポー		校スポーツ系			競技スポーツコーチング論 競技スポーツデータ論		2 2 2 2 2	スポーツ専門演習Ⅱ	2		界門演習N ②		4科目8単位	
ツ探究科目	生涯	<b>圧スポーツ系</b>			競技スポーツ傷害論 (( スポーツ文化論 (スポーツプロモーション論 (スポーツマネジメント論(スポーツマ	<ul> <li>製技スポーツ心理論</li> <li>製技スポーツ栄養論</li> <li>スポーツビジネス論</li> <li>地域スポーツ論</li> <li>ーケティングを含む)</li> <li>スポーツメディア論</li> <li>健康心理論</li> </ul>	2 2 2 2 2 2 2						選択必修 14科目28単位	36単位 を修得す
						<ol> <li>高齢者スポーツ論(要介護者を含む)</li> <li>運動処方論</li> </ol>	(2) (2)							
	200	機断演習系 対なスポーツ 演習系			競技スポーツ演習(マネジメント) 競技スポーツ演習(ゲイオメカニグ) 競技スポーツ演習(ケーム分析) 競技スポーツ演習(体力) 競技スポーツ演習(体力) 競技スポーツ演習(機書) 競技スポーツ演習(トレーニング)(			ポーツ科学社会実装演習 I ポーツ科学社会実装演習 II		2 2				
キャリア形成科目		涯スポーツ 演習系			競技スポーツ満面(チームマネジ 生涯スポーツ満面(スポーツプロモ 生涯スポーツ満面(マネジメント) 生涯スポーツ満面(デさめスポーツ) 生涯スポーツ満面(悪が出ーサイン・ 生涯スポーツ満面(野が出動・教 生涯スポーツ満面(ボーツメディン・ 生涯スポーツ満面(ボーツメディン・	- ション) ) , , ッパ活動) (護者のスポーツ活動) (育) (評論)	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2						選択必修	<b>12単位</b> を修得す
		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			衛生学(公衆衛生学を含む) ( 学校保健学(小児保健、精神保健	<ol> <li>(2) 保健体育科教育法 2 (保健)</li> <li>(2) ま、学校安全及び教急処置を含む)</li> <li>(2)</li> </ol>	2 4	R健体育特別演習 I チング演習(水泳) I チング演習(ホッケー) I	② トレーニング指導実習 ② コーチング演習(水泳) II ② コーチング演習(ホッケー) II ② コーチング演習(サッカー) II	<ol> <li>保健体育</li> <li>健康運動</li> <li>2</li> <li>2</li> </ol>				
	3 3 1 4 4	人文・社会・自然科学	簡字 I 歷史学 I 施理学 I 施理学 I 文化人類学 I 文化人類 F 下	② 哲学 I		7	3	一子ング薬剤(伝導実践) I	② ユーチング素層(指導実践)Ⅱ	②				
		スキル	◇ICTリテラシー A ◇データサイエンス コンピューター基礎理論		) 情報社会の権利と倫理 ( 資格情報技術 ( デジタルデザイン (	<ul><li>2 ICTと情報社会</li><li>2 ソフトウェア開発論</li><li>2 データ分析</li></ul>	2 IO 2 2	CTの社会活用の実践 A	② ICTの社会活用の実践 B	2			選択必修	<b>28単位</b> を修得す
		アンスキル	学びと社会のデザイン I ウェルビーイング I	②		② ② ビア・サポート実践B	(2)							
	国際	<b>#共修</b>	異文化コミュニケーションA 国際コミュニケーション I 留学プランニング	<ul><li>② 異文化コミュニケーションB</li><li>②</li><li>②</li><li>②</li></ul>	<ul> <li>日本文化交流 A</li> <li>アニメと社会 A</li> <li>国際コミュニケーション II</li> <li>国際文化交流 A</li> <li>中国文化交流 A</li> <li>海外文化研修 A</li> </ul>	<ul> <li>日本文化交流 B</li> <li>アニ火社会 B</li> <li>国際文化交流 B</li> <li>中国文化交流 B</li> <li>海外文化研修 B</li> </ul>	2 2 2 2 2 4							
	H	学	実用英語(旅行・留学)A 総合英語 I ◇日本語 I ◇日本語特講 I 実用日本語 I A	① 実用英語(旅行·留学)B ② 総合英語Ⅱ ② ◇日本語Ⅱ ② ◇日本語Ⅱ ② ◇日本語Ⅱ ② ◇日本語析講Ⅱ ② 実用日本語ⅠB ③		学生のみ、「日本語」「日本語特別 ② 実用日本語 II B ② アカデミック日本語 I B ② キャリア日本語 I B (休眠)	2 2 2 7 2 7	接指定科目 カデミック日本語 II A (休講) ヤリア日本語 II A (休講)		2 2				
		形成支援	基礎中国語 I ワークルール論: 他なめの基礎知識 ファイナンシャル・リテラシー(休課) 産業と職業の研究 グローバル人材の形成 キャリア開発入門(中国語)	<ul> <li>② キャリアデザイン入門</li> <li>② セルフブランディング</li> <li>② クオリティ・オブ・ライフの探究</li> <li>②</li> </ul>	サヤリアデザイン基礎       ビジネス・コミュニケーション I       女性とキャリア形成       キャリア開発演習(中国語)	2	2 3	□級中国語 I 実践キャリア論(休講) ジネス・コミュニケーションⅡ		2				
		(自由科目)	に関する科目です。卒業要件	単位数には入りません。教職課程の層極	教職概論 教育課程論 特別活動論 生徒指導·教育相談	2 教育心理学(中・高) 2 教育社会学(中・高) 2 教育社会学(中・高) 2 教育方法論(中・高) 2 教育方法論(中・高) 2 教育方法論(中・高)	2 H	学校と教育の歴史 直徳教育指導論(中) 自的な学習-探究の時間の指導法 後等体験実施(事前事後指導を含む)		教育実習研 教育実習 : 教育実習 :	2	遺実践演習(中・高) ② コー種のみ		

キャリア形成支援 将来のキャリア形成について考えます。

健康栄養	<b>学部管理栄養学科&gt;</b> レベル	1	100番		<b>4 年度 教育課程表</b> <sup>10番</sup>	: (2024年度)	<b>入字者</b> 300			400番	【 <b>1年</b> 全 卒業要件
	区分	科目単	位 科目 単位	科 目 単位		位 科 目	単位	科目単位	科目	単位 科目 単位	
			<ol> <li>*基礎演習Ⅱ</li> <li>*情報処理演習Ⅱ</li> </ol>								
	導	食生活論 ②		*統計学演習 I ①		医学概論	② 紛	充計学演習Ⅱ ①			
	入 分	*管理栄養士概論 ②									
	野	基礎化学 ② * 有機化学 ② ② ② ③ ③ ③ ③ ③ ⑥ ③ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥									
		基礎生物学 ②									
		カウンセリング演習 ①	1)	*健康の概念と行政,環境 ②	* 公衆衛生と疾病予防 ②	2)					
専	社会環境と健康			*社会福祉概論 ②							
門基	人体の構造と機能及び疾 病の成り立ち	*解剖生理学 I ②	②   *解剖生理学Ⅱ ②	*疾病の成り立ち I ②	*疾病の成り立ち II (2) *生化学 (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4		2	* 生化学実験 I ①		② * 臨床生理学実験 ① ① ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③ ③	
礎	WASSING SEE S	*食事設計実習 ①	① *食品学総論 ②	*食品学実験 ①		*食品加工学実習	1	* 土化子关級 1	↑ 土10子关級Ⅱ	<u>U</u>	
分野	食物と健康			*食品学各論 ②							
±J		*基礎調理実習 I ①		*食品衛生学実験 ① *調理科学 ②			×	* 応用調理実習 ①			
	基礎栄養学				*栄養学実験 ①	D					
	応用栄養学			*応用栄養学 I ②	*応用栄養学Ⅱ ②	* 応用栄養学実習	1)	*応用栄養学Ⅲ ②			
<u> </u>	栄養教育論		*栄養教育論 ②	* 栄養教育マネジメント ②	*栄養教育マネジメント実習 (1	*栄養教育実践論	② *	* 栄養教育実践実習 ①			
3	臨床栄養学			*臨床栄養学総論 ②			-		*臨床栄養学各論Ⅲ	2	
事	公衆栄養学				* 臨床栄養学総論実習 * 公衆栄養学	<ul><li>* 臨床栄養学各論実習</li><li>* 公衆栄養マネジメント</li></ul>			* 公衆栄養学実習	1	
門門	給食経営管理論			*給食計画·実務論 ②	*給食運営実習 ①		2				
分						*給食経営管理実習 *総合演習 I	1		*総合演習Ⅱ	1	* 印の科目を含
野	総合演習					(学外実習事前·事後指導)			↑ №口/與目Ⅱ		104単位を必何
≣   ₹					*校外実習 ①	D		* 臨地実習 I ①			
:					(給食の運営)			公衆栄養学) * 臨地実習 Ⅱ ①			
	臨地実習							給食経営管理論)			
:								* 臨地実習Ⅲ ① 臨床栄養学)			
					栄養管理海外研修	② HACCP管理演習			生化学Ⅱ	② 健康栄養特講 A ①	
						* 栄養学基礎英語	2 7	スポーツ栄養管理②	専門演習Ⅱ	① (人体の構造と機能及び疾病の成り立ち)  健康学素性護R	
										健康栄養特講 B ① (生化学·基礎栄養学)	
										健康栄養特講C ①	
専										(食品学総論·食品衛生学) 健康栄養特講 D ①	
門	健康栄養特講									(食品学各論·食品加工学)	
発										健康栄養特講 E ① (応用栄養学)	
展分										健康栄養特講F ①	
野										(栄養教育論·給食経営管理論) 健康栄養特講 G ①	
										(臨床栄養学)	
										健康栄養特講H ①	
						* やまなしの食	2 *	* 地域の食と健康総合演習 ①	地域の食と栄養活動実習 II	(公衆衛生学·公衆栄養学)	
	地域連携					10.00		×地域の食と栄養活動実習 I ①			
		哲学 I ②					(:	地域農畜産物活用)			
			② 歴史学 I ②								
			② 論理学Ⅱ ②								
			<ol> <li>② 倫理学 I ②</li> <li>② 文化人類学 I ②</li> </ol>								
	人 文	ジェンダー学 I ②	② ジェンダー学 II ②								
			<ol> <li>② 心理学 I ②</li> <li>② 宗教と人間 I ②</li> </ol>								
	社		②								
	会		② 地理学Ⅱ ②								
	· 自		② 日本史 II ② ② 世界史 ②								
	然		② 統計学 ②								
	科		<ul><li>② 生物学 II</li><li>② エネルギー科学</li><li>② 2</li></ul>								
	学		② 数学 I ②								
			② 地球科学Ⅱ(休講) ②								
		科学史(休講) ②	② 経済学 ②								
			② 日本の文学 I (中国語) ②								
		◇データサイエンス ② コンピューター基礎理論 ②		情報社会の権利と倫理 ② 資格情報技術 ②	ICTと情報社会 ソフトウェア開発論		2 IO	CTの社会活用の実践 B ②			
	ICTスキル	コンしューケーを促生。曲	9		データ分析						
		データサイエンス(中国語) ②									
	言語スキル	<b>ア</b> クテイノ・リーディング ②	② アクティブ・ライティング ②								201414
											20単位を必修
	ヒューマンスキル	学びと社会のデザイン I ②		学びと社会のデザインII ②							
			<ol> <li>ウェルビーイング II</li> <li>異文化コミュニケーション B</li> </ol>	ピア・サポート実践 A       ②         日本文化交流 A       ②	ピア・サポート実践 B       ②         日本文化交流 B       ②						
		国際コミュニケーション I ②	2)	アニメと社会A ②	アニメと社会B						
	国際共修	留学プランニング ②	2)	国際コミュニケーション II ② 国際文化交流 A ②	国際文化交流B	2)					
				中国文化交流 A ②	中国文化交流B	2)					
		実用英語(月堂生活) A G	① 実用英語(日常生活) B ①		海外文化研修 B 資格英語(TOFIC) I B		i) ① **	「格英語(TOFIC) II B (体帯)			
	語学		<ol> <li>(1) 美用英語(日常生活) B</li> <li>(1) 実用英語(旅行·留学) B</li> <li>(1) (1) (1) (1) (1) (1)</li> </ol>		AID OF TOTAL OF THE CONTRACT O	アード A (小語	., U A	(1)			
	NO.		② 総合英語 II ②		加级中国严重	② 中級中国語 I	<u> </u>	h£Brh लाइक म			
			<ul><li>② 基礎中国語 II ②</li><li>① スポーツ実践(軽スポーツ I) ①</li></ul>		初級中国語Ⅱ	中	<b>4</b>	中級中国語Ⅱ  ②			
		スポーツ実践(バレーボール) 〔1	① スポーツ実践(軽スポーツⅡ) ①								
			<ol> <li>スポーツ実践(トレーニング実践)</li> <li>スポーツ実践(卓球)</li> </ol>								
	スポーツ	競技スポーツ実践 A ①	① 競技スポーツ実践 B ①	競技スポーツ実践C ①		競技スポーツ実践 E	① 克	競技スポーツ実践 F ①			
					スポーツ指導論						
		スポーツ心理学 ②	9	スポーツ科学       ②         スポーツ社会学       ②	コーチング基礎(る						
		ワークルール論:働くための基礎知識 (2		キャリアデザイン基礎 ②	キャリアデザイン発展	実践キャリア論(休講)					
	キャリア形成支援	ファイナンシャル・リテラシー(休講) (2 産業と職業の研究 (2		ビジネス・コミュニケーション I ② 女性とキャリア形成 ②		ジ ピンネス・コミュニケーション II	ц (2)				
		グローバル人材の形成 ②	② クオリティ・オブ・ライフの探究 ②								
(十二卦)===	段(自由秋日)— <del>-四十2</del>	キャリア開発入門(中国語) ②		キャリア開発演習(中国語) ②	<b></b>						
	栄養教諭の役割・職務内容	コて9。卒未安什里位数には	は入りません。教職課程の履修に 	ンいては我職就在腹修規程に行	食教育論						
	教育 幼児・児童・生徒の栄養に係る課題										
に関する科目	食生活に関する歴史的・文化的事項 食に関する指導の方法					食育指導法	2				
	及に対する指導の方法 教育の理念、教育に関する歴史・思想			学校と教育の歴史 ②	+	及月拍导法	(2)				
	教職の意義、教員の役割・職務内容			教職概論 ②							
教育の基礎 解に関する	教育に関する社会的・制度的・経営的事項 科目 幼児・児童・生徒の心身の発達・学習の過程				-	- 教育心研学/坐学→**^\		效育社会学(栄養教諭) ①			
カキに利りる	★計画 幼児・児童・生徒の心時の発達・子音の過程 特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する理解				特別支援教育概論	教育心理学(栄養教諭)	) U				
	教育課程の意義・編成の方法				教育課程論	2)					
道徳、総合 学習の時間					道德教育指導論(栄養教諭) 〔	<ul><li>特別活動論</li><li>総合的な学習・探究の</li></ul>	② )時間の指	<b>導法</b> ①			
	ド生徒 教育の方法・技術				教育方法論(栄養教諭)						
	相談 生徒指導の理論・方法							生徒指導論 ②			
指導、教育											
指導、教育 等に関する	科目教育相談の理論・方法							数育相談 ②		①	
指導、教育	科目教育相談の理論・方法									① 教職実践演習(栄養教諭) ②	

### 国際リベラルアーツ学部 2024年度 教育課程表 iCLA 2024AY Curriculum

ICLA 2024A1			履修の前提要件 Prerequisites	配当				単位数 # Credits	s		授業形態 lass Styl	
科目区分 Cluster/Discipline	コースナンバー Course Number	授業科目の名称 Course Title	コースナンバーまたは Gr		開講年度 Year	開講学期 Semester	必	選	自	講	演	実
			区分単位数の要件 Course Number or Credits	Level			修 Req	択 Elec	由 Free	義 Lec	習 Sem	習 WS
アカデミック英語	EFAE010	English for Academic Excellence (EFAE): A アカデミック英語: A	none	1	毎年 Every Year	前・後期 Spring & Fall		15		0		
English for Academic Excellence	EFAE020	English for Academic Excellence (EFAE): B アカデミック英語: B	EFAE010 or equivalent	1	毎年 Every Year	前·後期 Spring & Fall	15			0		
	FNDN030	小計 (2科目) Subtotal: 2 Liberal Arts Preparation (Japanese)	native OR N2 proficiency, AND	1	毎年	前·後期		3		0		
	FNDN050	リベラルアーツ入門 Composition Lab	placement test EFAE020 or equivalent, AND placement	1	Every Year 毎年	前·後期		1			0	
ı	FNDN/DATA090	英作文ラボ Introduction to Data Science	test		Every Year 毎年	Spring & Fall 前・後期		1			0	
ı		データ・サイエンス入門 Academic Reading Across Disciplines	none	1	Every Year 毎年	Spring & Fall 前・後期						
ı	FNDN100	分野横断型アカデミック・リーディング Composition 1	EFAE020  EFAE020 or equivalent, AND placement	1	Every Year 毎年	Spring & Fall 前・後期		3		0		
基幹教育	FNDN101	英作文 1 Composition 2	test	1	Every Year 毎年			3		0		
Foundation Courses	FNDN102	英作文2 Expository Research Writing	FNDN101  EFAE020 or equivalent, AND placement	1	Every Year 毎年			3		0		
_	FNDN103	リサーチ・ライティング Foundation for College Success	test	1	Every Year 毎年			3		0		
	FNDN116	カレッジ・サクセスの基礎	none	1	Every Year	Spring & Fall	1					0
L	FNDN145	Modern World History 近代世界史	none	1	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
L	FNDN285	Internship インターンシップ	none	2	毎年 Every Year			1				0
L	FNDN499	Graduation Research Project 卒業研究	(see iCLA Student Handbook)	4	毎年 Every Year	前·後期 Spring & Fall	2				0	
	_	小計(11科目)Subtotal: 11  Microeconomics			毎年	前·後期						
ı	ECON101	ミクロ経済学 Macroeconomics	none	1	Every Year 毎年	Spring & Fall		3		0		
, ⊢	ECON102	マクロ経済学 Accounting	none	1	Every Year 毎年	前期 Spring		3		0		
ı	ECON120	アカウンティング	none	1	Every Year	前期 Spring		3		0		
L	ECON140	Financial Management ファイナンス論	ECON120	1	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
L	ECON201	Intermediate Microeconomics 中級ミクロ経済学	ECON101	1	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
	ECON202	Intermediate Macroeconomics 中級マクロ経済学	ECON102	2	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
ı	ECON/JPNA230	Japanese Economy & Business 日本経済とビジネス	none	1	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
ı	ECON/DATA246	Investment 証券投資論	ECON140	2	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
グローバルビジネス	ECON260	Marketing マーケティング	none	2	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
・ ・ 経済学	ECON270	Money, Banking, and Financial Markets	ECON140	2	毎年	前期 Spring		3		0		
Global Business	ECON/DATA291	金融市場 Econometrics	QREA/PSCI/ECON203	2	Every Year 毎年	前期 Spring		3		0		
&	ECON315	計量経済学 Derivatives	ECON140	3	Every Year 毎年	後期 Fall		3		0		
Economics	ECON320	デリバティブ International Trade & Economics of Globalization	ECON101 OR ECON102	2	Every Year 毎年	前期 Spring		3		0		
ı	ECON325	国際貿易とグローバル経済 International Finance	ECON101 ON ECON102		Every Year 毎年	後期 Fall		3		0		
ı		国際金融論 Risk Management		3	Every Year 毎年							
ı	ECON/DATA331	リスクマネジメント概論 Entrepreneurship	ECON140	3	Every Year 毎年	後期 Fall		3		0		
ı	ECON350	起業・ベンチャー論 Portfolio Management	none	2	Every Year 毎年	前期 Spring		3		0		
ı L	ECON/DATA364	ポートフォリオ理論  Introduction to Fintech: Reshaping the Financial World	ECON140	3	Every Year 毎年	前期 Spring		3		0		
ı	ECON/DATA370	フィンテック概論:金融界の再構築	none	3	Every Year	後期 Fall		3		0		
L	ECON385	Economics of Sustainable Development サスティナビリティ学基礎	none	3	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
L	ECON498	Seminar (Global Business & Economics) グローバルビジネス・経済学演習	Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement.	4	毎年 Every Year	前・後期 Spring & Fall		1			0	
	PSCI100	小計(20科目)Subtotal: 20 Introduction to Political Science	none	1	毎年	前·後期		3		0		
ı	PSCI/SOCI/ECON210	政治学入門 Methods of Social Research		1	Every Year 毎年	Spring & Fall 前期 Spring		3		0		
<sub> </sub>	,,	社会調査方法論 Comparative Politics	none		Every Year 毎年							
,	PSCI220	比較政治学 International Relations	PSCI100	1	Every Year 毎年	前期 Spring		3	$\vdash$	0		
ı	PSCI230	国際関係論 Contemporary Issues of Political Economy	PSCI100	1	Every Year 毎年	後期 Fall		3		0		
ı	PSCI/ECON235	政治経済学の現状と課題	PSCI100 AND ECON101	2	Every Year 毎年	後期 Fall		3		0		
ı	PSCI240	Introduction to Public Administration 行政学入門	PSCI100	1	Every Year	後期 Fall		3		0		
L	PSCI/SOCI255	Public Policy and Service 公共政策と公共サービス	PSCI240	2	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
L	PSCI/ECON265	Geographical Political Economy 地域政治経済学	ECON101, OR PSCI220	2	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
政治学	PSCI/ECON275	International Political Economy 国際政治経済学	ECON101 OR ECON 102, AND PSCI230	2	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
Political Science	PSCI311	International Relations in the Asian Pacific Region アジア太平洋地域における国際関係論	PSCI230	2	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
,	PSCI320	International Security 国際安全保障論	PSCI230	2	偶数年 Even	前期 Spring		3		0		
, F	PSCI330	International Organization 国際機構論	PSCI230	2	奇数年 Odd	前期 Spring		3		0		
, F	PSCI/JPNA355	Japanese Politics and Diplomacy	PSCI230 OR PSCI220	2	毎年	後期 Fall		3		0		
-  -	PSCI/ECON/DATA366	日本の政治と外交 Political Economy of Development	ECON101 OR ECON102, AND	3	Every Year 毎年	後期 Fall		3	$\vdash$	0		
, F	PSCI/SOCI370	開発の政治経済学 Nonprofit/Social Enterprise Management	PSCI220 PSCI240	3	Every Year 毎年	後期 Fall		3		0		
	. 551, 5001570	非営利組織と社会的企業	. 331270	,	Every Year 毎年				$\vdash$			
\ <u>-</u>	DCCT/ECON/DATA375	Political Economy of Trade and Industrial Policy	DECEDEE OF DECEDEE	2								
-	PSCI/ECON/DATA376 PSCI499	Political Economy of Trade and Industrial Policy 貿易·産業政策の政治経済学 Seminar (Political Science)	PSCI265 OR PSCI275  Completed at least 7 lecture courses	3	Every Year 毎年	前期 Spring 前・後期		3		0	0	

				履修の前提要件	配当				単位数 # Credite			授業形態 lass Styl	
科目 Cluster/E		コースナンバー Course Number	授業科目の名称 Course Title	Prerequisites コースナンバーまたは	年次 Grade	開講年度 Year	開講学期 Semester	必	選	自	講	演	実
				区分単位数の要件 Course Number or Credits	Level			修 Req	択 Elec	由 Free	義 Lec	習 Sem	習 WS
		PSYC100	Introduction to Psychology 心理学入門	none	1	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
		PSYC150	Introduction to Psychobiology 心理生物学入門	none	1	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
		PSYC/DATA190	Research Design 研究デザイン	none	1	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
		PSYC201	Social Psychology 社会心理学	PSYC100 OR PSYC150	2	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
		PSYC210	Cognitive Psychology 認知心理学	PSYC100 OR PSYC150	2	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
		PSYC240	Developmental Psychology 発達心理学	PSYC150	2	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
心理	学	PSYC250	Psychopathology 精神病理学	PSYC150	2	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
Psych	ology	PSYC260	Health Psychology 健康心理学	PSYC100 OR PSYC150	2	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
		PSYC301	Experimental Psychology 実験心理学	PSYC/DATA190	3	毎年 Every Year	前期 Spring		1			0	
		PSYC/DATA311	Cyberpsychology	PSYC200 or 201 OR PSYC210	3	毎年	後期 Fall		3		0		
		PSYC330	サイバー心理学 Individual Differences	PSYC/DATA190	3	毎年	前期 Spring		3		0		
		PSYC/ECON/DATA348	差異心理学 Consumer Psychology	①PSYC200 or 201, OR	3	Every Year 毎年	後期 Fall		3		0		
		PSYC/ECON/DATA352	消費者心理学 Economic Psychology	②PSYC100 AND ECON260 PSYC200 or 201	3	Every Year 毎年	前期 Spring		3		0		
		PSYC499	経済心理学 Seminar (Psychology)	Completed at least 7 lecture courses	4	Every Year 毎年	前・後期		1			0	
		-	心理学演習 小計(14科目)Subtotal: 14	that satisfy the Major Area requirement.		Every Year	Spring & Fall		1			U	
		DATA100	Introduction to Computer Science コンピュータ科学入門	none	1	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
		DATA150	Introduction to Python Programming パイソン・プログラミング入門	none	1	毎年 Every Year	前・後期 Spring & Fall		3		0		
		DATA160	Coding Bootcamp: Python ブートキャンプ:パイソン	DATA150 (can be taken concurrently)	1	毎年 Every Year	前·後期 Spring & Fall		1			0	
		DATA240	Data Visualization Techniques in Python パイソン・データビジュアライゼーション技術	DATA150 AND QREA/PSCI/ECON203	2	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
インターディシブ! サイコ		DATA250	Mathematics for Data Science データ・サイエンスのための数学	DATA150 AND QREA102 AND QREA/PSCI/ECON203	2	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
		DATA/SOCI/QREA265	Science, Society & Self	none	2	毎年	前期 Spring		3		0		
Interdiscipl Scie			科学と社会と自己 The Art & Science of Decision Making in an Era of			Every Year							
		DATA/SOCI/QREA340	Accelerating Change: Transformation/Big Data/AI 変化を加速させる時代における意思決定の技術と科学: 変容・ビックデー タ・AI	none	3	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
		DATA350	Machine Learning	DATA160 AND DATA240 AND	3	毎年	後期 Fall		3		0		
		DATA499	機械学習 Seminar (Interdisciplinary Data Science)	DATA250 Completed at least 7 lecture courses	4	Every Year 毎年	前·後期		1			0	
		_	インターディシブリナリー・データ・サイエンス演習 小計(9科目)Subtotal: 9	that satisfy the Major Area requirement.		Every Year	Spring & Fall						
		LANG100	Introduction to Language Concepts 言語概念入門	none	1	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
		LANG110	English for Specific Purposes 専門英語	none	1	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
		LANG150	Literature Appreciation 文学鑑賞	none	1	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
		LANG200	Sociolinguistics 社会言語学	LANG100	1	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
		LANG210	Semantics 意味論	none	1	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0		
		LANG220	Rhetorical Analysis and Composition 修辞学と作文	FNDN102 OR FNDN103	1	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
		LANG/JPNA235	Japan: Lost in Adaptation and Representation ジャパン: 世界から見た日本	LANG150 OR LANG220	2	偶数年 Even	後期 Fall		3		0		
	文学	LANG/JPNA240	Contemporary Japanese Literature 現代日本文学	LANG150 OR LANG220	2	奇数年 Odd	後期 Fall		3		0		
	· 言語学	LANG/JPNA245	Early Modern Japanese Literature	none	2	毎年	後期 Fall		3		0		
	Language	LANG300	近世の日本文学 World Englishes	LANG100	3	Every Year 毎年	後期 Fall		3		0		
	Arts	LANG/JPNA305	世界の英語 East Asian Tales of the Supernatural	LANG/JPNA245 OR HIST/JPNA260	3	Every Year 毎年	前期 Spring		3		0		
			東アジアにおける怪異譚 Creative Nonfiction	LANG 220 OR LANG/JPNA 240 OR		Every Year 毎年							
		LANG331	クリエイティブ・ノンフィクション Contemporary Literature, Politics, and Economy	Lang/Jpna 235 Lang 220 or Lang/Jpna 240 or	2	Every Year 奇数年	後期 Fall		3		0		
		LANG346	現代文学における政治と経済 Second Language Acquisition	LANG/JPNA 235	3	Odd 毎年	前期 Spring		3		0		
		LANG360	第二言語習得論 Contemporary Science Fiction	none LANG 220 OR LANG/JPNA 240 OR	3	Every Year 偶数年	前期 Spring		3		0		
		LANG370	現代サイエンス・フィクション  Comparative Literature Studies	LANG/JPNA 235 LANG/JPNA 310 OR LANG 331 OR	3	Even 毎年	前期 Spring		3		0		
人文教養		LANG/JPNA450	比較文学研究	LANG/JPNA 310 OR LANG 331 OR LANG 345 OR LANG 346 OR LANG370	3	Every Year	前期 Spring		3		0		
人又教養 Inter-		LANG/SOCI215	Workshop: Archeolinguistics ワークショップ: 考古言語学	none	2	毎年 Every Year	後期 Fall		1				0
disciplinary		ARTS100	小計(17科目)Subtotal: 17 Art Appreciation	none	1	毎年	後期 Fall		3		0		
Arts		ARTS/JPNA111	美術鑑賞 Calligraphy and Kanji Culture	none	1	Every Year 毎年	前·後期		3		0		
			書道と漢字文化 History of Art			Every Year 毎年	Spring & Fall		3		0		
		ARTS210	美術史 Japanese Art and Aesthetics	none	1	Every Year 奇数年	前期 Spring	-					
		ARTS/JPNA220	日本美術と美学 Art Studio	none ARTS100 AND ARTS186, AND	2	Odd 奇数年	前期 Spring		3		0		
		ARTS301	アート・スタジオ Graphic Design Studio	ARTS286 or 288 ARTS100 AND ARTS187, AND	3	Odd 偶数年	後期 Fall		3		0		
		ARTS310	Grapnic Design Studio グラフィックデザイン・スタジオ	ARTS100 AND ARTS187, AND ARTS287 or 289  1) 1 Art Course from the following:	3	1角数平 Even	後期 Fall		3		0		
	芸術 Arts	ARTS420	Art Portfolio アート・ポートフォリオ	ARTS100, ARTS210, ARTS/JPNA220, ARTS/MUSC110 2) AND 1 Art Course from the following: ARTS300 or 301, ARTS310 3) AND 2 Art Workshops from the following: ARTS180/280, ARTS187/287/289	4	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0		
		ADTOLOG	Workshop: Drawing 1	ARTS186/286/288	<u> </u>	毎年	±±±0 C						_
		ARTS180	ワークショップ : 絵画実習 1	none 35	1	Every Year	前期 Spring		1				0

科目	区分	コースナンバー	授業科目の名称	履修の前提要件 Prerequisites	配当年次	開講年度	開講学期	L	単位数 # Credit	s		授業形態 lass Sty
	IE과 Discipline	コーステンハー Course Number	坟案科目少名称 Course Title	コースナンバーまたは 区分単位数の要件 Course Number or Credits	年次 Grade Level	開酶年度 Year	開誦子期 Semester	必 修 Req	選 択 Elec	自 由 Free	講 義 Lec	演 習 Sem
		ARTS186	Workshop: Painting and Sculpting 1 ワークショップ: 絵画と彫刻 1	none	1	毎年 Every Year	前期 Spring	Req	1	riee	Lec	Selli
ļ		ARTS187	Workshop: Graphic Design 1	none	1	毎年	後期 Fall		1			
ļ		ARTS280	ワークショップ: グラフィックデザイン1 Workshop: Drawing 2	none	1	Every Year 毎年	後期 Fall		1			
	-	ARTS288	ワークショップ: 絵画実習2 Workshop: Painting and Sculpting 2	none	2	Every Year 毎年	後期 Fall		1			
ļ	-	ARTS289	ワークショップ : 絵画と彫刻2 Workshop: Graphic Design 2		2	Every Year 毎年	前期 Spring		1			
	_	- AK13269	ワークショップ:グラフィックデザイン2 小計(13科目)Subtotal: 13	none	2	Every Year	ніян Spring		1			
ļ		PART120	Introduction to Filmmaking 映画製作入門	none	1	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0	
		PART/JPNA215	The Anthropology of Japanese Cinema 日本映画の人類学	PART120	2	奇数年 Odd	後期 Fall		3		0	
		PART/JPNA252	Manga & Anime Studies マンガ・アニメーション学	none	2	奇数年 Odd	前期 Spring		3		0	
		PART/JPNA253	Samurai Code and Culture 武士道とサムライ文化	none	2	毎年 Every Year	前·後期 Spring & Fall		3		0	
	芸能	PART/JPNA320	Film and Animation Studio 映画とアニメーションスタジオ	PART120	3	毎年 Every Year	前期 Spring		3		0	
	Performing Arts	PART/JPNA351	Japanese Traditional Theater	SOCI/PART/JPNA110 OR SOCI/JPNA270 OR	2	偶数年	後期 Fall		3		0	
	-	FART/JENASSI	日本の伝統演劇 Workshop Acting 1	PART/JPNA150 OR SOCI/JPNA160		Even	192,94) 1 GII					
ļ	_	PART180	Workshop: Acting 1 ワークショップ: 演技実習1	none	1	Every Year	前期 Spring		1			
		PART185	Workshop: Directing ワークショップ: 演劇監督実習	none	1	毎年 Every Year	前期 Spring		1			
		PART280	Workshop: Acting 2 ワークショップ:演技実習2	none	2	毎年 Every Year	後期 Fall		1			
ļ		—	小計 (9科目) Subtotal: 9 Interdisciplinary Arts		1 .	偶数年	*****	1	_	1	_	
	-	ARTS/MUSC110	インターディシブリナリー・アート Fundamentals of Sound and Music	none	1	Even	前期 Spring		3		0	
、文教養		MUSC120	音と音楽概論	none	1	母年 Every Year 毎年	前期 Spring		3		0	
Inter- ciplinary		MUSC/JPNA210	Japanese Traditional Music 日本の伝統音楽	none	2	Every Year	前期 Spring		3		0	
Arts		MUSC240	Music of the 20th Century 20世紀の音楽	none	2	偶数年 Even	後期 Fall		3		0	
ļ		MUSC251	Music Technology 音楽技術	none	2	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0	
ļ		MUSC/ARTS260	Sound Art サウンド・アート	none	2	奇数年 Odd	後期 Fall		3		0	
	音楽	MUSC315	Audio Engineering オーディオ工学	MUSC/ARTS260 OR MUSC251, AND MUSC120	2	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0	
	Music	MUSC320	Performance Strategies パフォーマンス・ストラテジー	MUSC/ARTS260 OR MUSC240, AND MUSC120	3	偶数年 Even	前期 Spring		3		0	
		MUSC330	Music Studio ミュージック・スタジオ	At least 3 music courses OR workshops from the following: ARTS/MUSC110, MUSC120, MUSC/JPNA210, MUSC251, MUSC240, MUSC/ARTS260, MUSC315, MUSC320, MUSC/JPNA187, MUSC/JPNA189, MUSC/PART130, MUSC/SPRT289	3	奇数年 Odd	前期 Spring		3		0	
		MUSC/PART130	Workshop: Guitar		1	毎年	/44 HB = 11		1			
1			ワークショップ:音楽実習(ギター)	none		Every Year	後期 Fall		1			
		MUSC/JPNA187	Workshop: Japanese Koto	none	1	毎年	後期 Fall		1			
Í	1	_	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実習(琴) 小計(11科目)Subtotal: 11	none	1				1			
	人文教養 Inter. Arts		Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実習 (琴) 小計(11和目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習		١.	毎年 Every Year	後期 Fall		1			0
		_	Workshop: Japanese Koto ワーウショウ: 音楽実置(琴) 小計(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演置 小計(1科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History	none  Completed at least 7 lecture courses	1	毎年 Every Year 毎年 Every Year	後期 Fall 前·後期		1		0	0
		— INTA499 —	Workshop: Japanese Koto ワークショグ: 音楽実置(琴) 小竹(11相目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小計(1科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement	1 4	毎年 Every Year 毎年 Every Year 毎年 Every Year	後期 Fall 前・後期 Spring & Fall		1		0	0
	Inter. Arts	INTA499  HIST/JPNA170	Workshop: Japanese Koto ワークショグ: 音楽実置(琴) 小針(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演選 小針(1科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none	1 4	毎年 Every Year 毎年 Every Year 毎年 Every Year 毎年 Every Year 毎年	後期 Fall 前・後期 Spring & Fall 前期 Spring		1 1 3			0
	Inter. Arts - 歷史学	INTA499  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260	Workshop: Japanese Koto ワーケショップ: 音楽実置(等) 小針(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小針(1科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学史 小針(3科目)Subtotal: 3	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170	1 1 2	毎年 Every Year 毎年 Every Year 毎年 Every Year 毎年 Every Year 毎年 Every Year	後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前期 Spring 前期 Spring  (使期 Fall		1 3 3		0	0
	Inter. Arts - 歷史学	INTA499  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260	Workshop: Japanese Koto ワークショウ: 音楽実習(等) 小計(11相目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小計(14目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学史 小計(3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにちは日本語	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170	1 1 2	每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year	後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前期 Spring  前期 Spring  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall		1 3 3		0	
	Inter. Arts - 歷史学	HIST/JPNA360	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実置(琴) 小針(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演置 小針(1科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体之化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学史 小針(3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにちは日本題 Japanese Language 1	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement  none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)	1 1 2 3	毎年 Every Year 毎年 Every Year 毎年 Every Year 毎年 Every Year 毎年 Every Year 毎年 Every Year	後期 Fall 前・後期 Spring & Fall 前期 Spring 前期 Spring 後期 Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall		1 3 3 3 3		0	0
	Inter. Arts - 歷史学	INTA499  — HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  HIST/JPNA360  — JPNL001	Workshop: Japanese Koto ワーケショップ: 音楽実習(等) 小針(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小針(1科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学 小針(3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにちは日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111 or equivalent	1 1 2 3	每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year	後期 Fall  前·後期 Spring & Fall  前期 Spring  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall		1 3 3 3 3		0	0
	Inter. Arts - 歷史学	INTA499  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  HIST/JPNA360  JPNL001  JPNL111	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実習(琴) 小計(11相目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小計(1科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学史 小計(3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにちは日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111	1 1 2 3 1 1 1	爾年 Every Year 爾年 Every Year 爾年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年	後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前期 Spring  前期 Spring  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前・後期 「新・後期		1 1 3 3 3 3 1 1 3		0	0 0
	Inter. Arts - 歷史学	HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実置(琴) 小計(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演置 小計(14科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体之化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学史 小計(34科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese ごんたちは日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111 or equivalent JPNL120 OR JPNL112	1 1 2 3 1 1 1 1 1	爾年 Every Year 爾年 Every Year 爾年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年 Every Year 每年	後期 Fall  前·後期 Spring & Fall  前期 Spring  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期		1 1 3 3 3 1 1 3 3 3		0	0 0
L Til de	Inter. Arts - 歷史学	HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113	Workshop: Japanese Koto ワーケショップ: 音楽実置(等) 小針(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小針(1科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学史 小針(3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにちは日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2 Japanese Language 3 日本語 3 Japanese Language 4	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111 or equivalent JPNL120 OR JPNL112 or equivalent JPNL113 or equivalent JPNL130 OR JPNL114	1 1 2 3 1 1 1 1 1 1	毎年 Every Year 毎年 Every Year	後期 Fall  前·後期 Spring & Fall  前期 Spring  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期		1 3 3 3 3 3 3 3		0	0 0 0
	E史学 History	INTA499  — HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113 JPNL114	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実置(琴) 小針(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演置 小針(14科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学史 小針(34科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにおは日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2 Japanese Language 3 日本語 3 Japanese Language 4 日本語 4 Japanese Language 5 日本語 5 Japanese Language 6	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111 or equivalent JPNL120 OR JPNL112 or equivalent JPNL130 OR JPNL114 or equivalent JPNL130 OR JPNL114 JPNL130 OR JPNL114 JPNL130 OR JPNL114	1 1 2 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	爾年 Every Year  第年	後期 Fall  前·後期 Spring & Fall  前期 Spring  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期		1 3 3 3 3 3 3 3		0	0 0 0
apan	歷史学 History 日本語研究 Japanese	HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113 JPNL114 JPNL115	Workshop: Japanese Koto ワーケショップ: 音楽実習(等) 小針(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小針(1科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学史 小針(3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにちは日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2 Japanese Language 3 日本語 3 Japanese Language 4 日本語 4 Japanese Language 5 日本語 5 Japanese Language 6 日本語 5 Japanese Language 6	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111  or equivalent  JPNL120 OR JPNL112  or equivalent  JPNL131  or equivalent  JPNL130 OR JPNL114  or equivalent  JPNL110 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent	1 1 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	爾年 Every Year	後期 Fall  前·後期 Spring & Fall  前期 Spring  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期		1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		0	0 0 0 0 0 0
apan	E史学 History	— INTA499 — HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113 JPNL114 JPNL115 JPNL116	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実習(等) 小針(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小針(1科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学  小針(3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにちば日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2 Japanese Language 3 日本語 3 Japanese Language 4 日本語 4 Japanese Language 5 日本語 5 Japanese Language 6 日本語 6 Japanese Language 7 日本語 7 Professional Writing in Japanese	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111 or equivalent JPNL120 OR JPNL112 or equivalent JPNL130 OR JPNL114 or equivalent JPNL130 OR JPNL114 or equivalent JPNL130 OR JPNL115 or equivalent	1 1 2 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	毎年 Every Year 毎年 Every Year	後期 Fall  前·後期 Spring & Fall  前期 Spring  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期		1 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		0	0 0 0 0 0 0
apan	歷史学 History 日本語研究 Japanese	— INTA499 — HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113 JPNL114 JPNL115 JPNL116 JPNL117 JPNL250	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実習(琴) 小針(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小針(14科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学史 小針(34科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにちは日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2 Japanese Language 3 日本語 3 Japanese Language 3 日本語 4 Japanese Language 4 日本語 4 Japanese Language 6 日本語 6 Japanese Language 7 日本語 6 Japanese Language 7 日本語 7 Professional Writing in Japanese 社会人としての日本語作文 Preparation for the N2 level of the Japanese Language	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111  or equivalent  JPNL120 OR JPNL112  or equivalent  JPNL130 OR JPNL114  or equivalent  JPNL130 OR JPNL114  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  JPNL20 OR JPNL116  or equivalent  native OR JPNL300 OR JPNL117	1 1 2 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	爾年 Every Year	後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前期 Spring  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall		1 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3		0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
apan	歷史学 History 日本語研究 Japanese	— INTA499 — HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113 JPNL114 JPNL115 JPNL116 JPNL117 JPNL250 JPNL270	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実習(等) 小外(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小外(11科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における身体と文学  小外(3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにちは日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2 Japanese Language 3 日本語 3 Japanese Language 3 日本語 4 Japanese Language 5 日本語 5 Japanese Language 6 日本語 6 Japanese Language 7 日本語 6 Japanese Language 7 日本語 7 Professional Writing in Japanese 北会人としての日本語作文 Preparation for the N2 level of the Japanese Language Proficiency Test 日本語能力試験N2	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111  or equivalent  JPNL120 OR JPNL112  or equivalent  JPNL130 OR JPNL114  or equivalent  JPNL130 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  JPNL20 OR JPNL116  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  native OR JPNL300 OR JPNL117	1 1 2 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	### Every Year	後期 Fall  前·後期 Spring & Fall  前期 Spring  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall		1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 1 1		0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
apan	歷史学 History 日本語研究 Japanese	— INTA499 — HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113 JPNL114 JPNL115 JPNL116 JPNL117 JPNL250 JPNL270 JPNL279	Workshop: Japanese Koto ワーケショップ: 音楽実習(等) ルサ (11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 ルサ (1科目) Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入野 (日本史入野 (日本史入野 (日本史入野 (日本史入野 (日本史入野 (日本史入野 (日本史入野 (日本史入野 (日本史入野 (日本史本) (日本日 (日本日 (日本日 (日本日 (日本日 (日本日 (日本日 (日	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111  or equivalent  JPNL120 OR JPNL112  or equivalent  JPNL130 OR JPNL114  or equivalent  JPNL130 OR JPNL114  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  JPNL20 OR JPNL116  or equivalent  native OR JPNL300 OR JPNL117	1 1 2 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2	### Every Year	後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前期 Spring  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall		1 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 1 1 1 1		0	
apan	歷史学 History 日本語研究 Japanese	— INTA499 — HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113 JPNL114 JPNL115 JPNL116 JPNL117 JPNL250 JPNL270	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実習(等) ルサ (11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 ルサ (1科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 日本史入門 日本史入門 日本史入門 日本北がる身体と文化 History の子に向にの and Medicine in Japan 日本における科学と医学史 リサ (3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんたちは日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2 Japanese Language 3 日本語 3 Japanese Language 3 日本語 4 Japanese Language 5 日本語 4 Japanese Language 6 日本語 6 Japanese Language 7 日本語 6 Japanese Language 7 日本語 7 Professional Writing in Japanese 社会人としての日本語作文 Preparation for the N2 level of the Japanese Language Proficiency Test 日本語が対象といていていていていていていていていていていていていていていていていていていて	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111  or equivalent  JPNL120 OR JPNL112  or equivalent  JPNL130 OR JPNL114  or equivalent  JPNL130 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  JPNL20 OR JPNL116  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  native OR JPNL300 OR JPNL117	1 1 2 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	爾年 Every Year  第年 Every Year	後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前期 Spring  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall		1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 1 1		0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
apan	歷史学 History 日本語研究 Japanese	— INTA499 — HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113 JPNL114 JPNL115 JPNL116 JPNL117 JPNL250 JPNL270 JPNL279	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実習(等) 小外(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小外(11科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学史 小外(3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにちは日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2 Japanese Language 3 日本語 3 Japanese Language 3 日本語 4 Japanese Language 5 日本語 5 Japanese Language 6 日本語 6 Japanese Language 7 日本語 7 Professional Writing in Japanese 社会人としての日本語作文 Preparation for the N2 level of the Japanese Language Proficiency Test 日本語教育対象外と Workshop: Experiencing Teaching Japanese フークショップ: 日本語教育体験/観察 Socio-Cultural Communication in Japanese コミュケーションの比め日本語表現 Preparation for the N1 level of the Japanese Language Proficiency Test	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111 or equivalent  JPNL120 OR JPNL112 or equivalent  JPNL130 OR JPNL114 or equivalent  JPNL130 OR JPNL115 or equivalent  JPNL210 OR JPNL116 or equivalent  JPNL210 OR JPNL115 or equivalent  JPNL210 OR JPNL116 or equivalent  JPNL210 OR JPNL117  JPNL210 OR JPNL117	1 1 2 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2	### Every Year #### Every Year ####################################	後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前期 Spring  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall		1 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 1 1 1 1		0	
ıpan	歷史学 History 日本語研究 Japanese	— INTA499 — HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113 JPNL114 JPNL115 JPNL116 JPNL117 JPNL250 JPNL270 JPNL279 JPNL320	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実習(等) 小針(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小針(11科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学  小針(3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにちば日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2 Japanese Language 3 日本語 3 Japanese Language 3 日本語 4 Japanese Language 5 日本語 5 Japanese Language 6 日本語 6 Japanese Language 7 日本語 7 Professional Writing in Japanese 社会人としての日本語作文 Preparation for the N2 level of the Japanese Language Proficiency Test 日本語形式験N2 Workshop: Experiencing Teaching Japanese フークショップ: 日本語教育体験/観察 Socio-Cultural Communication in Japanese コニューケーションのための日本語表現 Preparation for the N1 level of the Japanese Language Proficiency Test 日本語教育計算験N1	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111  or equivalent  JPNL120 OR JPNL112  or equivalent  JPNL130 OR JPNL114  or equivalent  JPNL130 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent  JPNL220 OR JPNL116  or equivalent  native OR JPNL300 OR JPNL117  JPNL210 OR JPNL300 OR JPNL117	1 1 2 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	## Every Year ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前期 Spring 前期 Spring 能期 Fall  前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前期 Spring		1 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 1 1 1 1 1		0	
apan	E史学 History  日本語研究 Japanese Language	— INTA499 — HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113 JPNL114 JPNL115 JPNL116 JPNL117 JPNL250 JPNL270 JPNL279 JPNL320 JPNL370	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実習(等) ルサ (11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 ルサ (1科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 日本史入門 日本史入門 日本史入門 日本における身体と文化 History の子に自の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111  or equivalent  JPNL120 OR JPNL112  or equivalent  JPNL130 OR JPNL113  or equivalent  JPNL130 OR JPNL114  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  native OR JPNL300 OR JPNL117  JPNL210 OR JPNL115 or equivalent  native OR JPNL300 OR JPNL117  JPNL220 OR JPNL116 or equivalent  JPNL300 or JPNL117 or equivalent  JPNL300 or JPNL117 or equivalent	1 1 2 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	### Every Year #### Every Year ##### Every Year ##### Every Year ####################################	後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前期 Spring & Fall  前期 Spring & Fall  前後期 Spring & Fall  前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・時期 Spring & Fall		1 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 1 1 1 1 1		0	
apan	歴史学 History	— INTA499 — HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113 JPNL114 JPNL115 JPNL116 JPNL117 JPNL250 JPNL270 JPNL279 JPNL320 JPNL370 — —	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実習(等) 小外 (1)科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小外 (1)科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学史 小針 (3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにちは日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2 Japanese Language 3 日本語 3 Japanese Language 3 日本語 4 Japanese Language 5 日本語 5 Japanese Language 6 日本語 6 Japanese Language 7 日本語 7 Professional Writing in Japanese 社会人としての日本語作文 Preparation for the N2 level of the Japanese Language Proficiency Test 日本語解力試験N2 Workshop: Experiencing Teaching Japanese フークショグ: 日本語教育体験/観察 Socio-Cultural Communication in Japanese ユョニューターショのための日本語表現 Preparation for the N1 level of the Japanese Language Proficiency Test 日本語解力試験N1 JN (13科目)Subtotal: 13 Cultural Exchange in Japanese 文化交流 Seminar (Japan Studies)	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111  or equivalent  JPNL120 OR JPNL112  or equivalent  JPNL130 OR JPNL113  or equivalent  JPNL130 OR JPNL114  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  native OR JPNL300 OR JPNL117  JPNL210 OR JPNL115 or equivalent  native OR JPNL300 OR JPNL117	1 1 2 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	爾年 Every Year 爾年 Every Year 爾年 Every Year 每年 Every Year	後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前期 Spring & Fall  前期 Spring & Fall  前・後期 Spring & Fall  前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall		1  3 3 3 1 3 3 3 3 3 1 1 1 1 1		0	
apan	E史学 History  日本語研究 Japanese Language  日本研究 Japan	— INTA499 — HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113 JPNL114 JPNL115 JPNL116 JPNL117 JPNL250 JPNL270 JPNL270 JPNL270 JPNL320 JPNL320 JPNL320 JPNL320 JPNL320 JPNL370 — JPNA225 JPNA499 — —	Workshop: Japanese Koto ワーケショップ: 音楽実習(等) 小針(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小針(11科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 Bodies and Cultures in Modern Japanese History 近代日本史における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学と医学史 小針(3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんにちは日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2 Japanese Language 3 日本語 3 Japanese Language 3 日本語 3 Japanese Language 6 日本語 6 Japanese Language 7 日本語 5 Japanese Language 7 日本語 7 Professional Writing in Japanese 社会人としての日本語作文 Preparation for the N2 level of the Japanese Language Proficiency Test 日本語形式験N2 Workshop: Experiencing Teaching Japanese フークショグ:日本語教育体験(観察 Socio-Cultural Communication in Japanese コュニケーションのための日本語表現 Preparation for the N1 level of the Japanese Language Proficiency Test 日本語形力試験N1 小針(13科目)Subtotal: 13 Cultural Exchange in Japanese 文化交流 Seminar (Japan Studies) 日本研究演習 J科(2科目)Subtotal: 2 Math for Liberal Arts	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111  or equivalent  JPNL120 OR JPNL112  or equivalent  JPNL130 OR JPNL113  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent  JPNL20 OR JPNL116  or equivalent  JPNL210 OR JPNL116  or equivalent  JPNL20 OR JPNL117  JPNL210 OR JPNL116 or equivalent  native OR JPNL300 OR JPNL117  JPNL210 OR JPNL116 or equivalent  JPNL300 or JPNL117 or equivalent  JPNL300 Or JPNL117 or equivalent  JPNL210 OR JPNL115 or equivalent  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement	1 4 4 1 2 2 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	## Every Year ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前期 Spring & Fall  前期 Spring & Fall  前手後期 Spring & Fall  前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前・後期 Spring & Fall 前朝 Spring		1  1  3  3  3  1  3  3  3  3  1  1  1  1		0	
本研究 apan udies 数的	E史学 History  日本語研究 Japanese Language  日本研究 Japan Studies	— INTA499 — HIST/JPNA170 HIST/JPNA260 HIST/JPNA360 — JPNL001 JPNL111 JPNL112 JPNL113 JPNL114 JPNL115 JPNL116 JPNL117 JPNL250 JPNL270 JPNL270 JPNL270 JPNL370 — JPNL370 — JPNA225	Workshop: Japanese Koto ワークショップ: 音楽実習(等) 小針(11科目)Subtotal: 11 Seminar (Interdisciplinary Arts) 人文教養演習 小針(11科目)Subtotal: 1 Introduction to Japanese History 日本史入門 日本史入門 日本史入門 日本史入門 日本史入門 日本における身体と文化 History of Science and Medicine in Japan 日本における科学医学史 小針(3科目)Subtotal: 3 Konnichiwa Japanese こんたちは日本語 Japanese Language 1 日本語 1 Japanese Language 2 日本語 2 Japanese Language 3 日本語 3 Japanese Language 3 日本語 4 Japanese Language 5 日本語 6 Japanese Language 5 日本語 6 Japanese Language 7 日本語 6 Japanese Language 7 日本語 7 Professional Writing in Japanese 社会人としての日本語作文 Preparation for the N2 level of the Japanese Language Proficiency Test 日本語を対象が発験が観察 Socio-Cultural Communication in Japanese フークショップ:日本語教育体験(観察 Socio-Cultural Communication in Japanese フークショップ:日本語教育体験(観察 Socio-Cultural Exchange in Japanese フ・フションのための日本語表現 Preparation for the N1 level of the Japanese Language Proficiency Test 日本語教力試験N1 列針(13科目)Subtotal: 13 Cultural Exchange in Japanese 文化交流 Seminar (Japan Studies) 日本研究演習 小計 (2科目) Subtotal: 2	none  Completed at least 7 lecture courses that satisfy the Major Area requirement none  HIST/JPNA170  HIST/JPNA260  none  (Placement test)  JPNL110 OR JPNL111  or equivalent  JPNL120 OR JPNL112  or equivalent  JPNL130 OR JPNL114  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent  JPNL20 OR JPNL115  or equivalent  JPNL210 OR JPNL115  or equivalent  JPNL20 OR JPNL116  or equivalent  JPNL20 OR JPNL116  or equivalent  JPNL20 OR JPNL117  JPNL210 OR JPNL116 or equivalent  native OR JPNL300 OR JPNL117  JPNL20 OR JPNL116 or equivalent  JPNL300 or JPNL117 or equivalent  JPNL210 OR JPNL117 or equivalent	1 1 2 3 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	### Every Year #### Every Year ### Every Year #### Every Year ### Every Year #### Every Year ### Every ### ### Every ### ### Every ### ### ### ### #### #### ### ### ###	後期 Fall  前·後期 Spring & Fall  前·後期 Spring & Fall  前期 Spring  後期 Fall  前・後期 Spring & Fall  前部 Spring & Fall  前期 Spring  前・後期 Spring & Fall		1 1 3 3 3 1 1 3 3 3 3 1 1 1 1 1		0	

科目区分	コースナンバー Course Number	授業科目の名称 Course Title	履修の前提要件 Prerequisites		開講年度	開講学期		単位数 # Credit	S		授業形態 Class Style		
Cluster/Discipline			コースナンバーまたは 区分単位数の要件 Course Number or Credits	Grade Level	Year	Semester	必 修 Req	選 択 Elec	自 由 Free	講 義 Lec	演 習 Sem	実 習 WS	
& Natural Sciences	SCNS110	Earth Science 地球科学	none	1	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0			
	_	小計(4科目)Subtotal: 4											
	SPRT/JPNA180	Health & Physical Education 1 (Nanba) 保健体育 1(種目:ナンバ式骨体操)	none	1	毎年 Every Year	後期 Fall						0	
	SPRT/JPNA181	Health & Physical Education 1 (Aikido) 保健体育 1(種目:合気道)	none	1	毎年 Every Year	前期 Spring						0	
保健体育	SPRT/JPNA182	Health & Physical Education 1 (Judo) 保健体育 1(種目:柔道)	none	1	毎年 Every Year	前期 Spring		1				0	
保護坪月 Health & Physical	SPRT/JPNA183	Health & Physical Education 1 (Karate) 保健体育 1 (種目:空手)	none	1	毎年 Every Year	後期 Fall						0	
Education	SPRT/JPNA190	Health & Physical Education 1 (Shugendo) 保健体育 1(種目:修験道)	none	1	毎年 Every Year	前期 Spring						0	
	SPRT/JPNA282	Health & Physical Education 2 (Judo) 保健体育 2(種目:柔道)	SPRT182	1	毎年 Every Year	後期 Fall		1				0	
	SPRT/JPNA283	Health & Physical Education 2 (Karate) 保健体育 2 (種目:空手)	SPRT183	1	毎年 Every Year	前期 Spring		1				0	
	_	小計(2科目)Subtotal: 2											
	SOCI/JPNA160	The Anthropology of Japan 日本の人類学	none	1	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0			
社会学	SOCI/JPNA270	Japan: Case Studies in Society & Culture 日本:社会と文化の事例研究	SOCI100 OR SOCI/JPNA160	2	偶数年 Even	前期 Spring		3		0			
Sociology	SOCI/PART/JPNA330	Folklore and Archeology of Yamanashi 山梨県の民話と考古学	SOCI100 OR SOCI/JPNA160	3	毎年 Every Year	後期 Fall		3		0			
	SOCI/JPNA186	Workshop: Fuji Culture ワークショップ:富士山と文化	none	1	毎年 Every Year	前期 Spring		1				0	
	_	小計(4科目)Subtotal: 4											

#### 卒業要件及び履修方法 Graduation Requirements

#### 【卒業要件及び履修方法】

- (1) 卒業要件単位数:124単位(必修を含む)
- (2) 卒業要件単位の修得方法:以下に掲げる履修方法に基づいて単位を修得すること。
- (i)『アカデミック英語』より必修科目を含めて15単位以上を修得する。ただい、入学時に正規留学生として入学を認められる者と同等の英語運用能力を有すると認められた学生は、当該要件を免除する。
- (ii)日本語を母語とする学生及びこれと同等の日本語運用能力を有すると判断された学生は、『日本語研究』より「社会人のための日本語作文」の3単位を修得する。日本語を母語としない外国人留学生等については、「日本語2」までの達成卒業要件とする。ただし、入学後に実施する日本語運用能力に関する試験の結果により当該科目を履修する必要がないと判断された場合は、「日本語2」までの達成の要件を免除する。なお、前項(i)の『アカデシク英語』より「アカデシク英語」より「アカデシク英語: A J及び「アカデシク英語: B Jを履修した学生については、『日本語のアミルでは一般では、日本語のでは、6単位を上限として卒業要件を充足する単位に含めることができる。『アカデシク英語』より「アカデシク英語: B Jのみを履修した学生については、『日本語研究』に配置されている日本語教育を目的とした授業科目の単位を、6単位を上限として卒業要件を充足する単位に含めることができる。『アカデシク英語』を除されたデンリでは、『日本語研究』に配置されている日本語教育を目的とした授業科目の単位を、15単位を上限として卒業要件を充足する単位に含めることができる。『アカデシク英語』を免除された学生については、『日本語研究』に配置されている日本語教育を目的とした授業科目の単位を、15単位を上限として卒業要件を充足する単位に含めることができる。『アカデシク英語』を免除された。
- (iii)『基幹教育』より必修科目(卒業研究を含む。)を含めて6単位以上を修得する。
- (w) 『グローバルビジネス・経営学』『政治学』『心理学』『インターディシブリナリー・データ・サイエンス』『人文教養』『日本研究』のうち3つの科目区分それぞれからパスウェイコース1科目以上を履修し、9単位以上を修得する。
- (v) 『数的推理·自然科学』より3単位以上を修得する。
- (vi)『保健体育』より1単位以上を修得する。
- (3) 各学生がメジャーとして選択した科目区分より、必修科目(演習を含む。)を含めて31単位以上を修得する。なお、学生がメジャーとして選択する科目区分は、(iv)に基づいて履修したパスウェイコースの科目区分の中から選択しなければならない。
- (4) 事前の学修計画を策定した上で、本学部の2学期間に相当する期間、協定大学に留学すること。ただし、海外から本学部に留学している学生及び海外大学から転入した学生は本要件を免除する。また、入学前の学修歴および入学 時点の言語運用能力に鑑みて留学を免除することが教育上有益であると認められる場合には、学部教授会の議を経て当該要件を免除することができる。なお、留学先において入国制限等の措置が発動された結果、あるいは協定大学が受け 入れを中止した結果、協定大学への留学が困難となった場合、または、学部からの要請により留学を中止した場合においても、本号の定める要件は免除できる。
- (5) 第4年次において、各学生がメシャーとして選択した科目区分に開設されている「演習」を履修し、担当教員の指導を受け指定された方法に基づいて「卒業研究」を完成させ提出する。

#### 【履修上限】

1年生:36単位、2年生:42単位、3年生:42単位、4年生:42単位

04\_(山梨学院大学)\_取組概要

#### ICTスキルとデータサイエンス修得プログラム

#### 本教育プログラムを修了すると身につくこと

必修科目を学ぶことで、ICTスキルとデータサイエンスが同時に身につきます。本教育プログラムを終了すると学生生活に必要な文書作成、表計算などのICTスキルが身についきます。ICTスキルは、卒業後も、職場ではもちろんのこと、社会の様々な場面で活用できます。また、データサイエンスを学ぶことで、ビッグデータやAIとともに生活する現代社会において、知らないことによる様々なリスクを回避し、活用することに興味を持つことができます。そして、社会でデータサイエンスを活用するための基礎的な能力が身につきます。

#### 1年生

#### 2年生

#### 3年生・4年生

レポート・卒論を書く=Word

調査をまとめる=統計的手法

少人数でICT、データサイエンス

表・グラフを作る= Excel

ICTの社会活用の実践A・B

をより深く学ぶ

#### ICTリテラシーA コンピューターの使い方

コンピューターの使い方 Word(ワープロ)

#### ICTリテラシーB Excel(表計算、グラフ)

Excel(表計算、グラフ) 統計的手法の基礎

#### **データサイエンス** Alと社会の関わり

コンピューター基礎理論 情報科学・情報技術の基礎 情報社会の権利と倫理 ICTに関する権利や倫理

#### ICTと情報社会

ICTの社会への応用

#### 資格情報技術

ITパスポート(国家資格)

#### **ソフトウェア開発論** アプリ・ソフトの作成

データ分析

統計的手法でデータ分析

#### デジタルデザイン

グラフィックデザイン

専門演習(ゼミ)

2重枠が本教育プログラムに係る科目。他はプログラム修了者向けの周辺科目。

**モデルカリキュラム** 「導入」、「基礎」、「心得」の内容を全て含むように本教育プログラムは編成されています。

# 3 1. 社会におけるデータ・AI利活用 1-1. 社会で起きている変化 1-2. 社会で活用されているデータ 1-3. データ・AIの活用領域 1-4. データ・AI利活用のための技術 1-5. データ・AI利活用の現場 1-6. データ・AI利活用の最新動向 2. データリテラシー 2-1. データを読む 2-3. データを扱う 2-2. データを説明する

3. データ・AI利活用における留意事項

3-1. データ・AIを扱う上での留意事項 3-2. データを守る上での留意事項

#### 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムWebページより

#### プログラムの特徴

#### 1. 大学の教育理念に基づいたプログラム設計

山梨学院大学では2021年度に教育理念を更新しています。本教育プログラムはその教育理念に沿うように教育内容、授業運営が設計されています。



#### 山梨学院大学の教育理念

山梨学院大学は広い**国際的視野**を持ち**実践的な知識と技能**を備え創造力 と行動力を発揮して理想の未来を創る人材を育成する

#### 国際的視野(多様性への理解)

山梨学院大学の学生は、一般学生、スポーツアスリート学生、留学生など多様な学生から構成されています。学生が大学で学ぶ目的も多様です。本教育プログラムのグループ学習では、こうした学生が協力して学習し、お互いの考えを認め合って、**多様性**への理解を身につけます。

#### 実践的な知識と技能

本教育プログラムでは、本学が社会科学系の学部を中心に構成されていることを考慮して、図表を多用して数式は必要最小限に絞り、授業内容を設計しています。また、各学部の学生の興味に応じた**実践的な知識と技能**を身につける時間を設けています。

2023年度からは、こうした内容を盛り込んで本学教員が滋賀大学データサイエンス学部と共同執筆した教科書を採用してます。

#### 2. グループ学習を重視する

活用事例のグループ学習を通して、数理・データサイエンス・AIを**学ぶ ことの楽しさ**を体験し**将来に渡って学ぶ力**を身につけます。

#### 3. 授業運営方法・成績評価の共通化

「ICTリテラシーA」,「ICTリテラシーB」「データサイエンス」は複数の教員で担当しています。それぞれの科目で以下の工夫をしています。

- ・同一シラバス、同一運営方法で授業を行っています
- ・成績評価のための基準が統一され厳格化されています。

#### 4. 山梨県内の大学と連携

山梨大学が中心とり活動している山梨県内の大学の「数理・データサイエンス・AI教育連携にかかる授業設計研究会」に参加しています。